

LS832WU

プロジェクター ユーザーガイド



ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。 ごぞいます。

ViewSonic® は技術進化、技術革新、簡略化において世界の期待を超えるビジュアルソリューションを提供し続けております。ViewSonic® は世界にインパクトを与える必ずお客様にご満足いただける ViewSonic® 製品をお届けします。

このたびは、ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全のためのご注意 - 全般

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

- 本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。
- 注意や警告はすべてお読みになり、その指示に従ってください。
- 適切な通気のために、本機の周囲は最低 20" (50 cm) のスペースを保ってください。
- 本機は通気のよい場所に設置してください。熱がこもるため、本機の上に物を載せないでください。
- 本機は平坦な安定した場所に設置してください。本機が落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態では使用しないでください。
- 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本機のランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- 本機が作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。
- ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、本機を常温に戻してください。
- ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
- ランプ部や電子部品の交換は、必ず本機の電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。
- 本機を動かす時には、落としたりぶついたりしないでください。
- 本機や接続ケーブルの上に重い物を載せないでください。
- 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり故障したりする恐れがあります。
- 本機を直射日光や熱源の熱にさらさないでください。ラジエーターやヒーター、ストーブ、その他の熱源（アンプなど）の近くに本機を設置すると、本機が高温になり危険です。
- 本機の上または近くに液体を置かないでください。本機の内部に液体がこぼれると故障の原因になります。本機が濡れてしまった場合は、コンセントからプラグを抜いて、お近くのサービスセンターに補修を依頼してください。

- 本機が作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。
- 有極プラグやアースプラグの安全対策は外さないでください。有極プラグには2つのブレードがあり、1つはもう片方よりも幅広になっています。アースタイプのプラグには2つのブレード、接地用突起が1つあります。幅広のブレードと3つ目の突起は安全対策用です。プラグがコンセントに合わない場合は、無理にプラグをコンセントに差し込もうとしないでください。
- コンセントに差し込むときに、接地用突起を切除しないでください。接地用突起は絶対に外さないでください。
- 電源コードは特にプラグ部分を踏みつけたり、強く挟んだりしないでください。
- 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。本機は電源がAC100～240Vの電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や±10Vのサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置(UPS)にプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 煙、異常音、異臭が認められる場合は、直ちに本機の電源を切り販売店またはViewSonic®にお問合せください。本機を使い続けることは危険です。
- 付属品/アクセサリは、メーカーが指定するものだけをご使用ください。
- 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 点検修理については、すべてサポートセンターにお問い合わせください。



注意：この製品からは、光放射が放出される可能性があります。他の光源同様、直接光線を見つめることはお止めください。

RG2 IEC 62471-5:2015

安全のためのご注意 - 天井取り付け

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

本機を天井に取り付ける場合は、適合する天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

適合しない天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないため本機が正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

プロジェクター天井取り付けキットは、本機を購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途セキュリティケーブルをお求めになり、プロジェクターの盗難防止用ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお勧めします。このようにしておくこと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

レーザーに関する注意事項

この製品はクラスレーザー製品に属し、IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014/A11:2021, EN 50689:2021 に準拠しています。

IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014+A11:2021, EN 50689:2021 CLASS 1 CONSUMER LASER PRODUCT RISK GROUP 2, Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed.1.0. For more information see Laser Notice No. 57, dated May 8, 2019.
IEC 60825-1:2014 等級1雷射产品RG2危险等级
IEC 60825-1:2014 1类激光产品RG2危险等级

上記のレーザーに関する注意事項は、この装置の底面にあります。

"WARNING: MOUNT ABOVE THE HEADS OF CHILDREN."
Additional warning against eye exposure for close exposures less than 1 m.
"AVERTISSEMENT : INSTALLER AU-DESSUS DE LA TÊTE DES ENFANTS."
Avertissement supplémentaire contre l'exposition oculaire pour des expositions à une distance de moins de 1 m.
"警告：安装在高于孩童头顶处"
关于小于1 m近距离眼睛暴露的附加警告
「警告：安装在高于儿童头部处」
针对1 m以下近距离眼睛接触的额外警告

- 子供たちを監督し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターのビームを決して見つめないように通知されます。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は、注意が必要です。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学補助具を使用しないように注意してください。

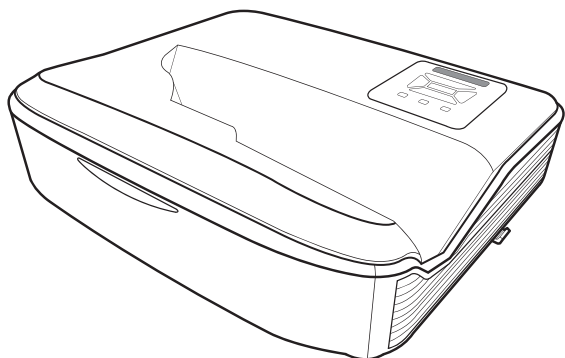
目次

安全のためのご注意 - 全般	3
安全のためのご注意 - 天井取り付け	5
レーザーに関する注意事項	5
はじめに	8
付属品	8
各部の名称	9
プロジェクター	9
キーパッド	10
インジケータライト	10
入出力ポート	11
リモコン	12
セットアップ	16
場所の選択 - 投影方向	16
投影寸法	17
プロジェクターの取り付け	18
本体の接続	19
電源との接続	19
外付け機器への接続	20
VGA接続	20
VGA出力接続	21
HDMI接続	22
音声とマイクの接続	23
USB接続	24
ネットワーク接続	25
RS-232接続	26
プロジェクターの使用方法	27
プロジェクターを起動する	27
入力ソースを選択する	28
投影画像を調整する	29
プロジェクターの高さと投影角度を調整する	29
フォーカスとキーーストーンの調整	30
プロジェクターをシャットダウンする	31

プロジェクターを操作する	32
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー	32
メニューナビゲーション	33
メインメニュー構成	34
メニュー操作	43
Display Menu (ディスプレイメニュー)	43
Audio Menu (オーディオメニュー)	50
Setup Menu (セットアップメニュー)	51
Network Menu (ネットワークメニュー)	56
ネットワークを介してプロジェクターを制御する	57
Information Menu (情報メニュー)	58
付録	59
仕様.....	59
プロジェクターの寸法	60
タイミングチャート	61
HDMI PC タイミング	63
3D サポート タイミング	65
トラブルシューティング	66
LED インジケーター	68
メンテナンス	69
お手入れの際の注意	69
レンズを清掃する	69
ケースのお手入れ	69
プロジェクターを保管する	69
規制および補修情報	70
コンプライアンス情報	70
FCC 準拠宣言	70
Industry Canada Statement.....	70
ヨーロッパ諸国における CE 準拠	70
RoHS2 準拠宣言	71
インドの有害物質に関する制限	72
廃棄処分について	72
著作権情報	73
カスタマーサービス	74
限定保証	75

はじめに

付属品



①



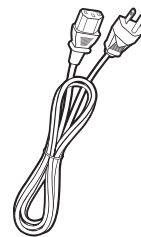
②



③



④



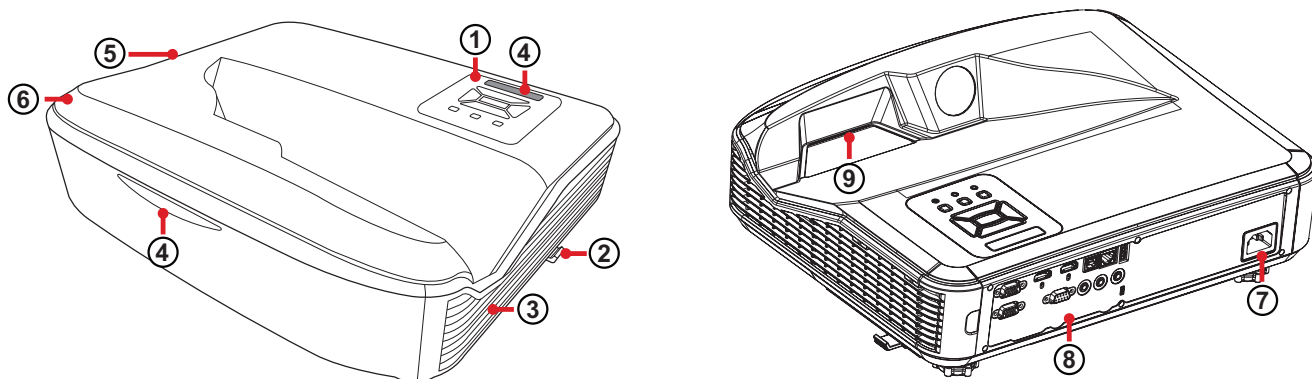
⑤

数	詳細
1	プロジェクター
2	リモコン
3	電池
4	クイックスタートガイド
5	電源コード

注記： 同梱されている電源コードとリモコンは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

各部の名称

プロジェクター

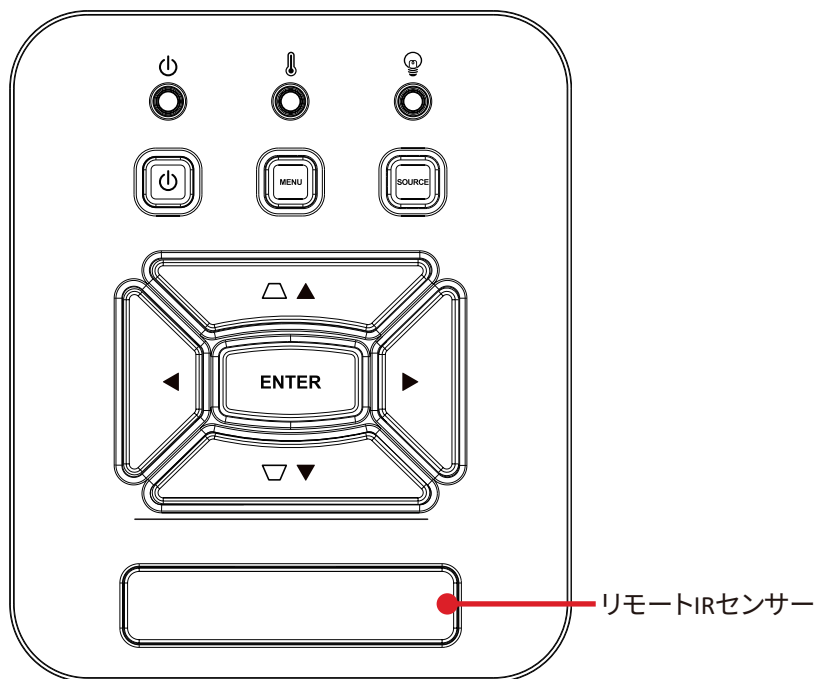


数	詳細
1	キーパッド
2	フォーカススイッチ
3	通気口(吸気)
4	リモートIRセンサー
5	通気口(排気)
6	スピーカー
7	AC入力ソケット
8	入出力ポート
9	レンズ

注記：

- プロジェクターの通気口(吸気)および通気口(排気)を塞がないでください。
- 密閉された空間でプロジェクターを操作する場合は、通気口(吸気)および通気口(排気)の周囲に少なくとも30cm (11¹³/₁₆インチ)の空間を確保してください。

キーパッド

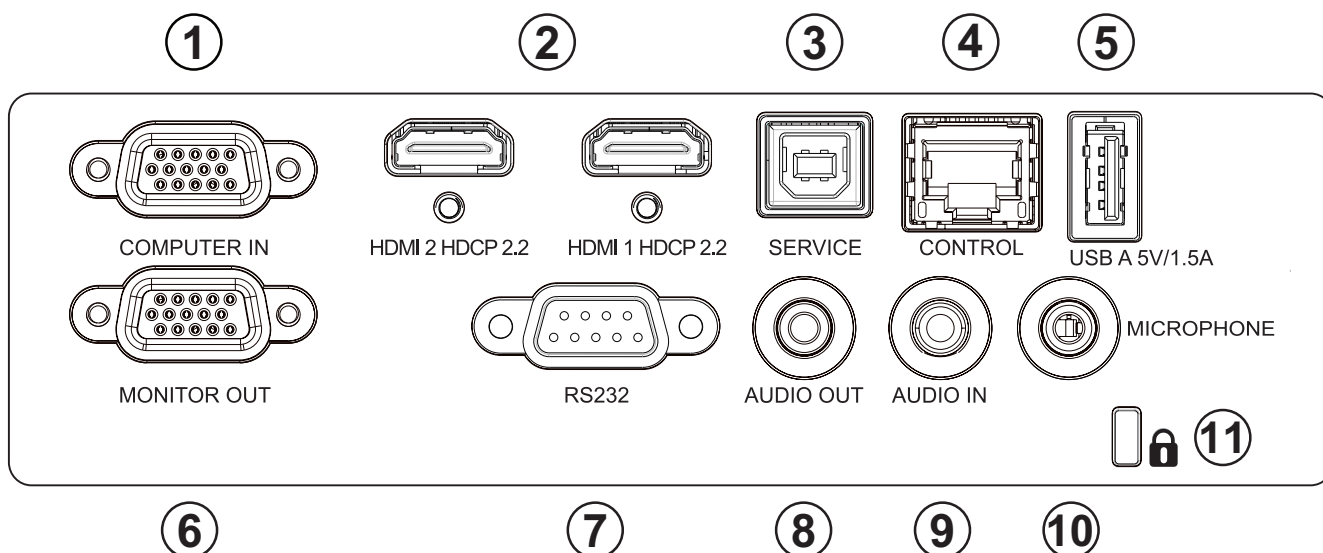



ボタン		詳細
⏻	電源	プロジェクターをスタンバイモードと電源オンに間で切り替えます。
△ ▽	キーストーン	角度のある投影から生じる歪んだ画像を手動で修正します。
◀ ▶ ▲ ▼	ナビゲーション	目的のメニュー項目を選択し、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがアクティブになったときに調整を行います。
MENU	メニュー/終了	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオンまたはオフにします。
SOURCE	ソース	入力ソース選択バーを表示します。
ENTER	入力	OSDメニューがアクティブになったときに、選択したオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目を有効にします。

インジケータライト

インジケータライト	詳細
⏻	電源インジケータライト
💡	光源インジケータライト
🌡️	温度インジケータライト

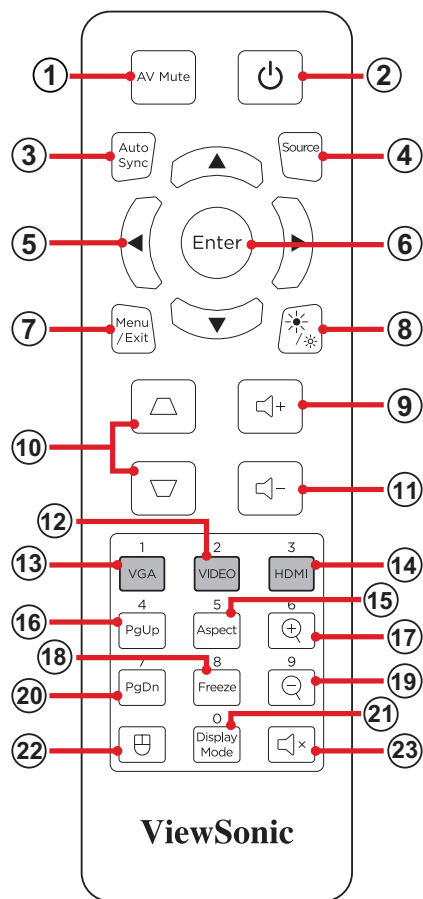
入出力ポート



















ポート		詳細
1	コンピュータ入力	RGB (PC)/コンポーネントビデオ (YPbPr/YCbCr) 信号入力ソケット。
2	HDMI ¹	HDMIポート。
3	サービス	サービス用のUSBタイプBポート。
4	RJ-45	LANポート。
5	USB (5V/1.5A出力)	電源用のUSBタイプAポート。
6	モニター出力	RGB信号出力ソケット。
7	RS232	RS-232制御ポート。
8	音声出力	音声信号出力ソケット。
9	AUDIO IN	音声信号入力ソケット
10	マイク	マイク信号入力ソケット。 注記： マイク入力のみをサポートします。音声入力をサポートしていません。間違ったケーブルを差し込むと、プロジェクターが損傷する場合があります。
11		Kensington盗難防止セキュリティロック。

¹ HDCP 2.2をサポートします。

リモコン



ボタン		詳細	
1	AVミュート		画像を非表示にし、音声を消音します。
2	電源		プロジェクターをオンまたはオフにします
3	自動同期		表示される画像の最適な画像タイミングを自動的に決定します。
4	ソース		入力ソース選択バーを表示します。
5	ナビゲーションボタン		目的のメニュー項目に移動して選択し、調整します。
6	入力		選択を確定します。
7	メニュー/終了		<ul style="list-style-type: none"> • オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオンまたはオフにします。 • 前のOSDメニューに戻ります。 • メニュー設定を終了して保存します。
8	輝度		輝度モード選択バーを表示します。

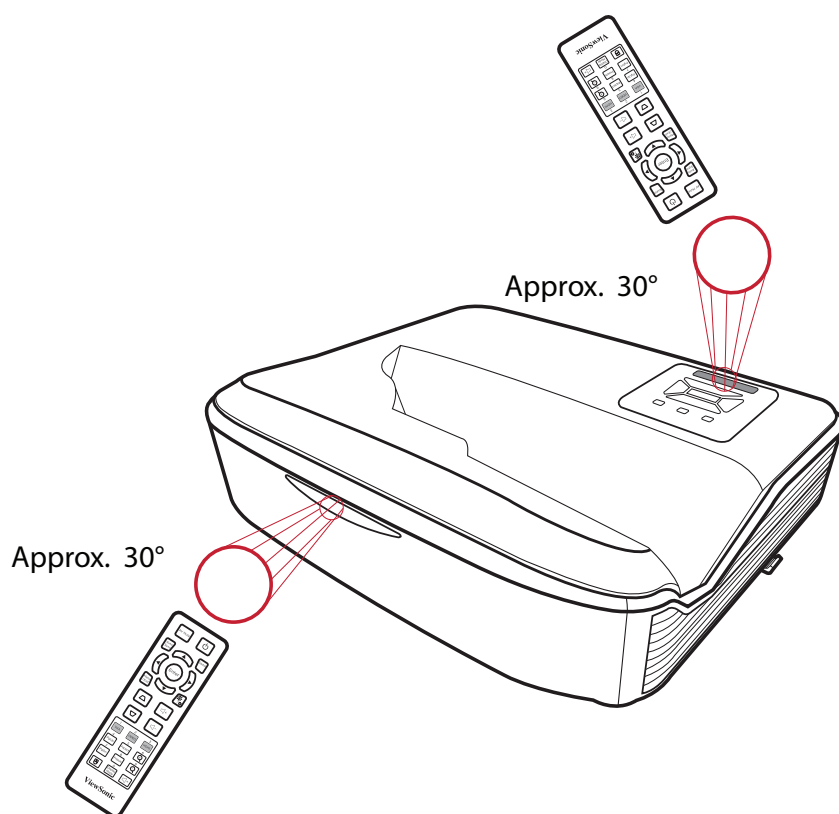
ボタン			詳細
9	音量(上)		音量レベルを上げます
10	キーストーン	 	歪んだ画像を手動で修正します。
11	音量(下)		音量レベルを下げます
12	ビデオ		サポートされていないボタン
13	VGA		ディスプレイ用コンピュータ入力ポートを選択します。
14	HDMI		HDMI 1またはHDMI 2入力ソースを選択します。
15	アスペクト		アスペクト比選択バーを表示します。
16	ページ(上)		サポートされていないボタン
17	ズームイン		投影される画像サイズを大きくします。
18	フリーズ		投影される画像をフリーズします。
19	ズームアウト		投影される画像サイズを小さくします。
20	ページ(下)		サポートされていないボタン
21	ディスプレイモード		カラーモード選択バーを表示します。
22	マウスモード		サポートされていないボタン
23	ミュート		ミュート/ミュート解除します。

リモコン - 受信機の範囲

リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

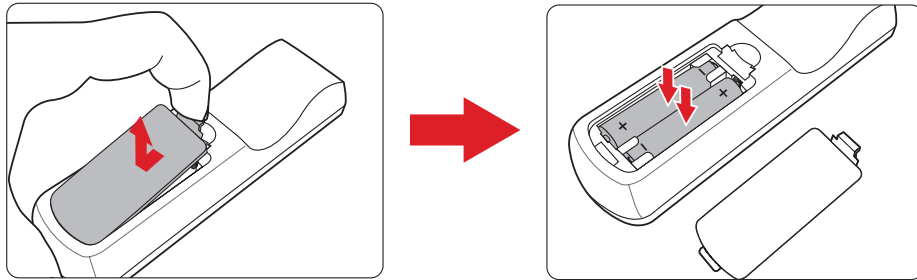
1. リモコンを、プロジェクターのIRリモコンセンサーに対して30°以内で保持してください。
2. リモコンとセンサーの間の距離が、7 m (23フィート) を超えないようにしてください。

注記： 赤外線 (IR) リモコンセンサーの位置については、図を参照してください。



リモコン - 電池の交換

1. フィンガーグリップを押しながらスライドさせて、リモコンの底面から電池カバーを取り外します。
2. 必要に応じて既存の電池を取り外し、2本の単四電池を取り付けます。
注記： 表示されているように電池の極性を確認してください。
3. 電池カバーをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。



注記：

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

セットアップ

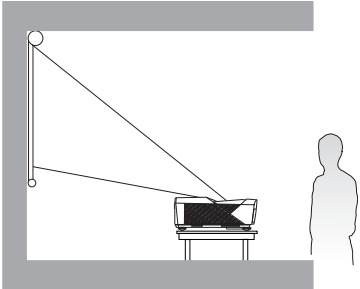
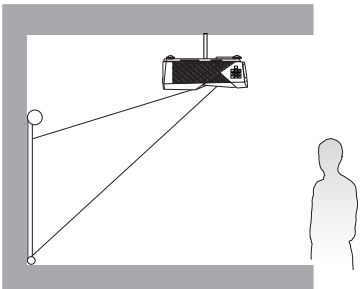
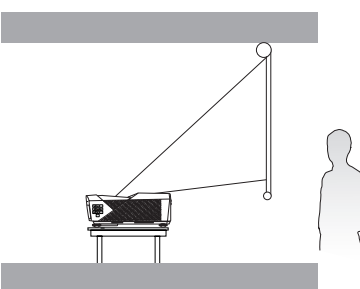
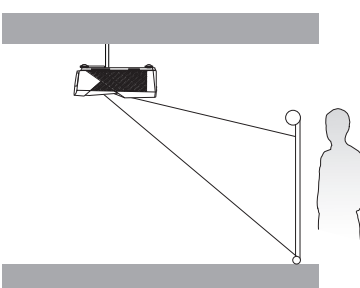
本章では、プロジェクターのセットアップについてご説明します。

場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

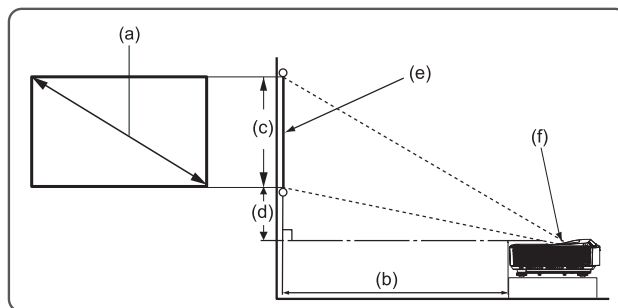
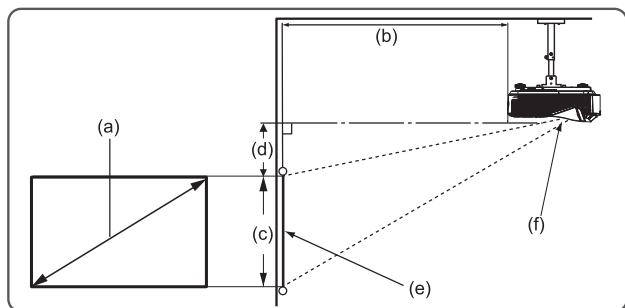
プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

場所	
<p>前面机上 プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。</p>	 A diagram showing a projector on a table in front of a screen. The projector is on a stand on the floor, and its lens is directed towards the screen. A person is standing to the right of the screen, looking at it.
<p>前面天井 プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	 A diagram showing a projector mounted on the ceiling in front of a screen. The projector is suspended from the ceiling and its lens is directed towards the screen. A person is standing to the right of the screen, looking at it.
<p>背面机上¹ プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。</p>	 A diagram showing a projector on a table behind a screen. The projector is on a stand on the floor, and its lens is directed towards the screen. A person is standing to the right of the screen, looking at it.
<p>背面天井¹ プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	 A diagram showing a projector mounted on the ceiling behind a screen. The projector is suspended from the ceiling and its lens is directed towards the screen. A person is standing to the right of the screen, looking at it.

¹背面投影スクリーンが必要です。

投影寸法

- 16:10スクリーン上の16:10画像



注記：

- (e) = スクリーン
- (f) = レンズの中心
- » レンズの中心からプロジェクターの背面までの距離は262 mm (10.31インチ)です。

16:10スクリーン上の16:10画像

(a) スクリーンサイズ		(b) 投影距離		(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフセット	
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
80	2032	6.85	174	42.40	1077	9.82	249
90	2286	8.99	228	47.70	1212	10.71	272
100	2540	11.14	283	53.00	1346	11.60	295
110	2794	13.28	337	58.30	1481	12.49	317
120	3048	15.43	392	63.60	1615	13.37	340
130	3302	17.58	446	68.90	1750	14.26	362
140	3556	19.72	501	74.20	1885	15.15	385
150	3810	21.87	555	79.50	2019	16.04	407
160	4064	24.01	610	84.80	2154	16.93	430
170	4318	26.16	664	90.10	2289	17.81	452

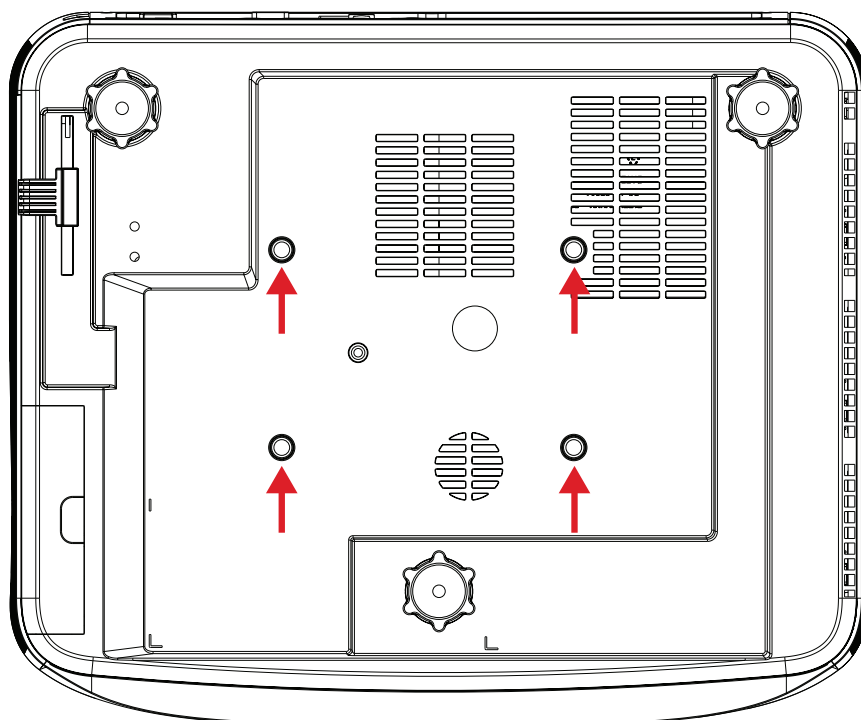
注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

プロジェクターの取り付け

注記： サードパーティ製のマウントを購入する場合は、正しいネジサイズを使用してください。取り付けプレートの厚さによってネジサイズは異なります。

1. 最も安全な設置を確実にするために、ViewSonic®の壁または天井マウントを使用してください。
2. マウントをプロジェクターに取り付けるために使用するネジが、次の仕様を満たしていることを確認してください。
 - ネジタイプ：M4 x 10
 - 最大ネジ長さ：10 mm



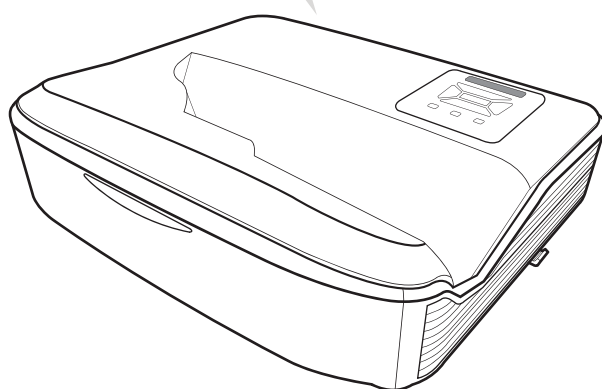
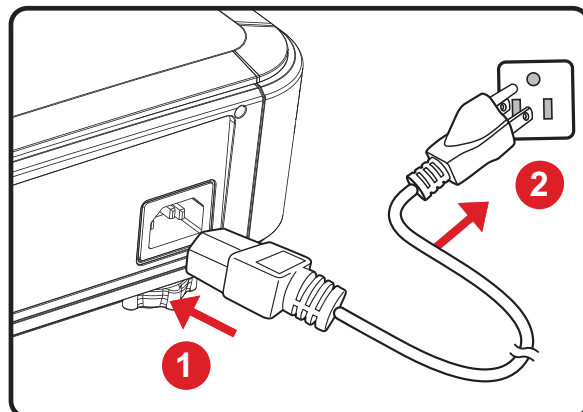
注意：

- プロジェクターを熱源または空調設備の近くに設置しないでください。
- 天井とプロジェクターの底面の間に少なくとも10 cm (3.9インチ) の隙間を空けてください。

本体の接続

電源との接続

1. 電源コードをプロジェクター背面のAC入力ジャックに接続します。
2. 電源コードをコンセントに差し込みます。



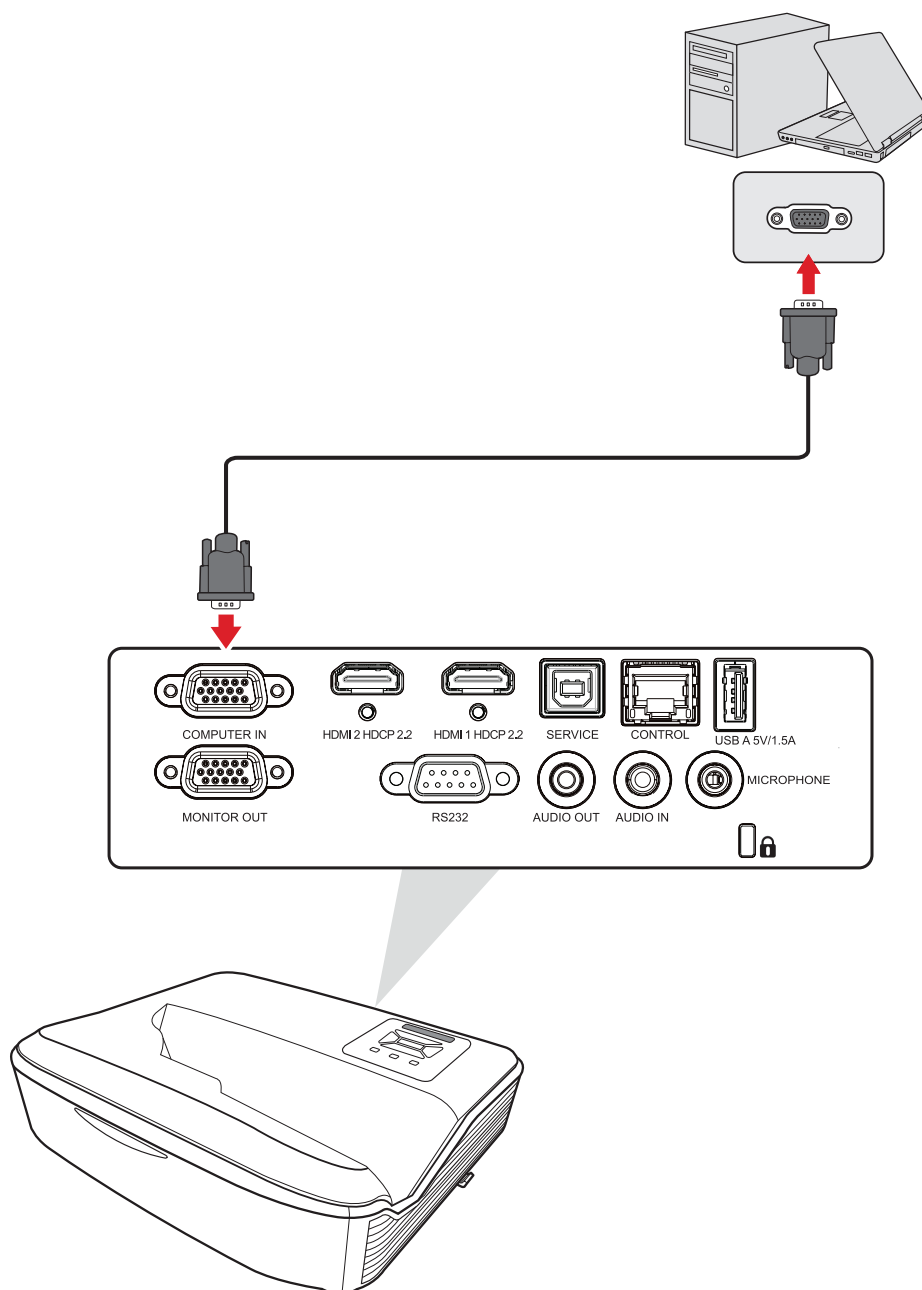
注記： プロジェクターを設置するときは、固定配線にすぐに手が届く切断機器を組み込むか、電源プラグを装置の近くにあるアクセスしやすいコンセントに接続してください。プロジェクターの操作中に障害が発生した場合は、切断機器を使用して電源を切るか、電源プラグを抜いてください。

外付け機器への接続

VGA接続

VGAケーブルの一方の端をコンピュータのVGAポートに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**コンピュータ入力**ポートに接続します。

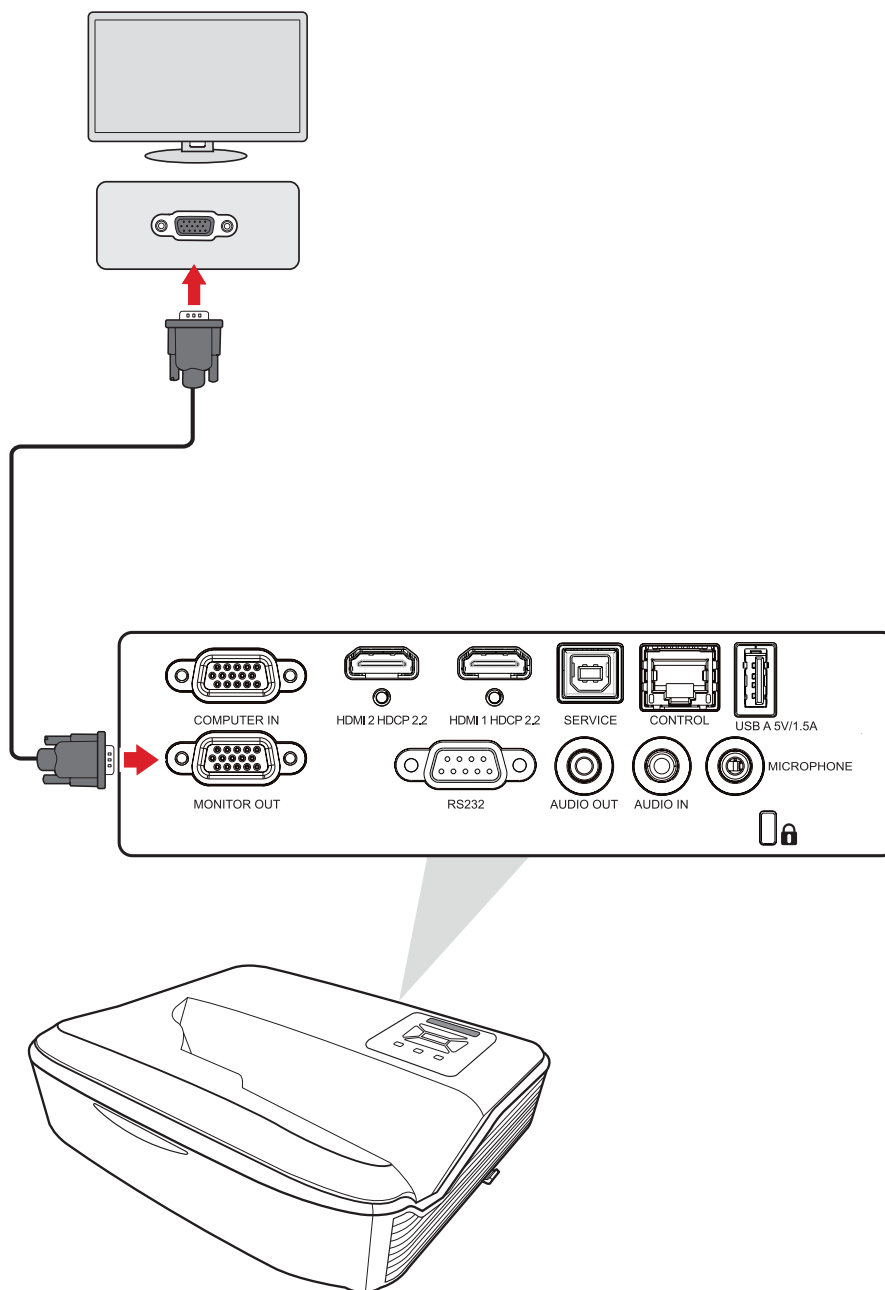
注記：一部のコンピュータは、プロジェクターに接続されているときに外部ディスプレイを自動的にオンにしない場合があります。コンピュータの投影設定を調整する必要がある場合があります。



VGA出力接続

投影されたコンテンツをモニターで間近に表示したり、投影したりするには、モニターをプロジェクターの**モニター出力**ポートに接続することができます。

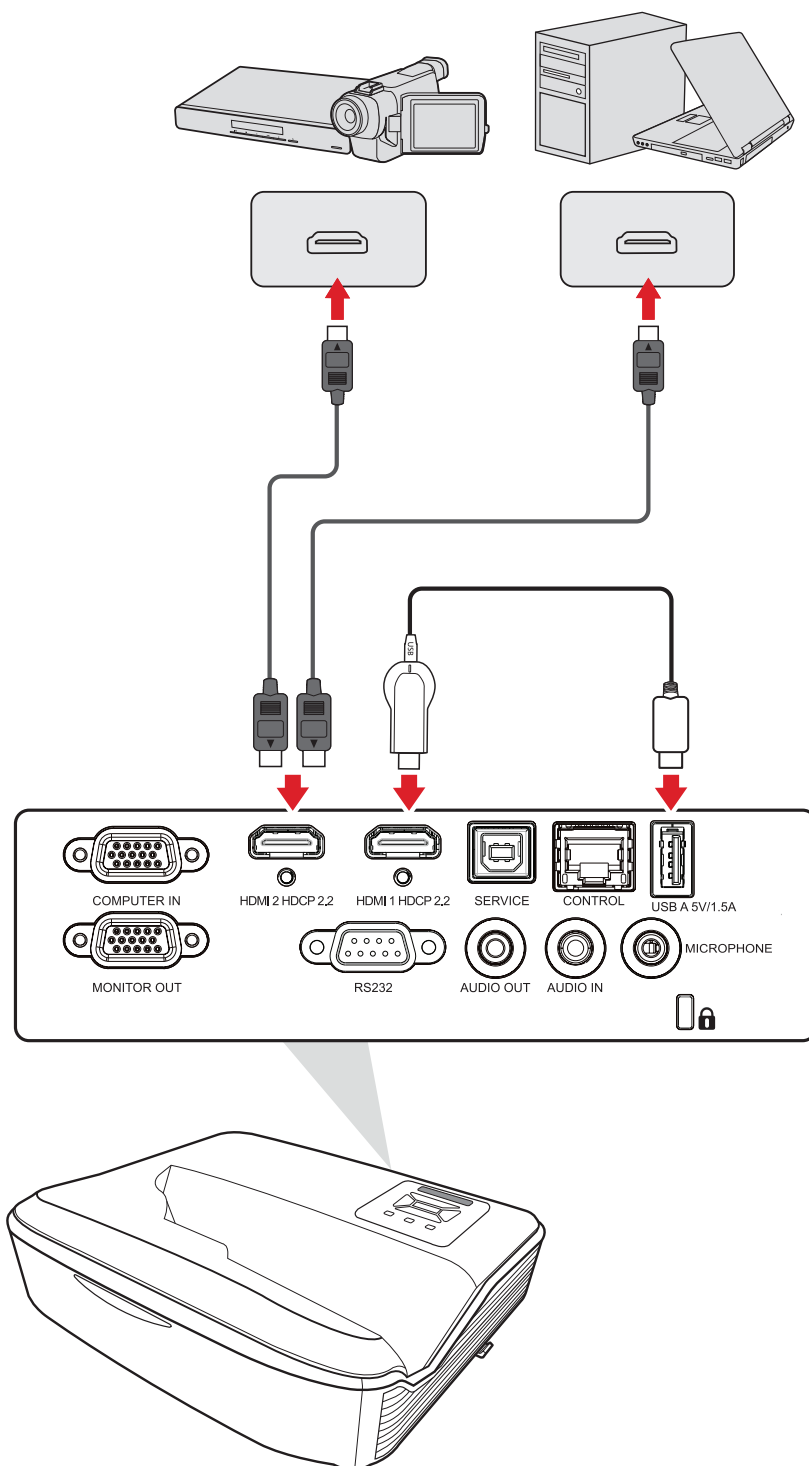
VGA接続を確立したら、VGAケーブルの一方の端をモニターのVGAポートに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**モニター出力**ポートに接続します。



HDMI接続

HDMIケーブルの片方をビデオ機器のHDMIポートに接続し、ケーブルの他端をプロジェクターのHDMI1/2ポートに接続します。

注記： HDMI 1および2ポートはHDCP 2.2をサポートします。



音声とマイクの接続

このプロジェクターは、**音声入力**と**音声出力**の両方、および**マイク入力**をサポートしています。

オーディオ入力

プロジェクターのスピーカーを介して外部デバイスから音声を再生するには、音声ケーブルの一方の端を外部デバイスに接続し、もう一方の端をプロジェクターの**音声入力**ポートに接続します。

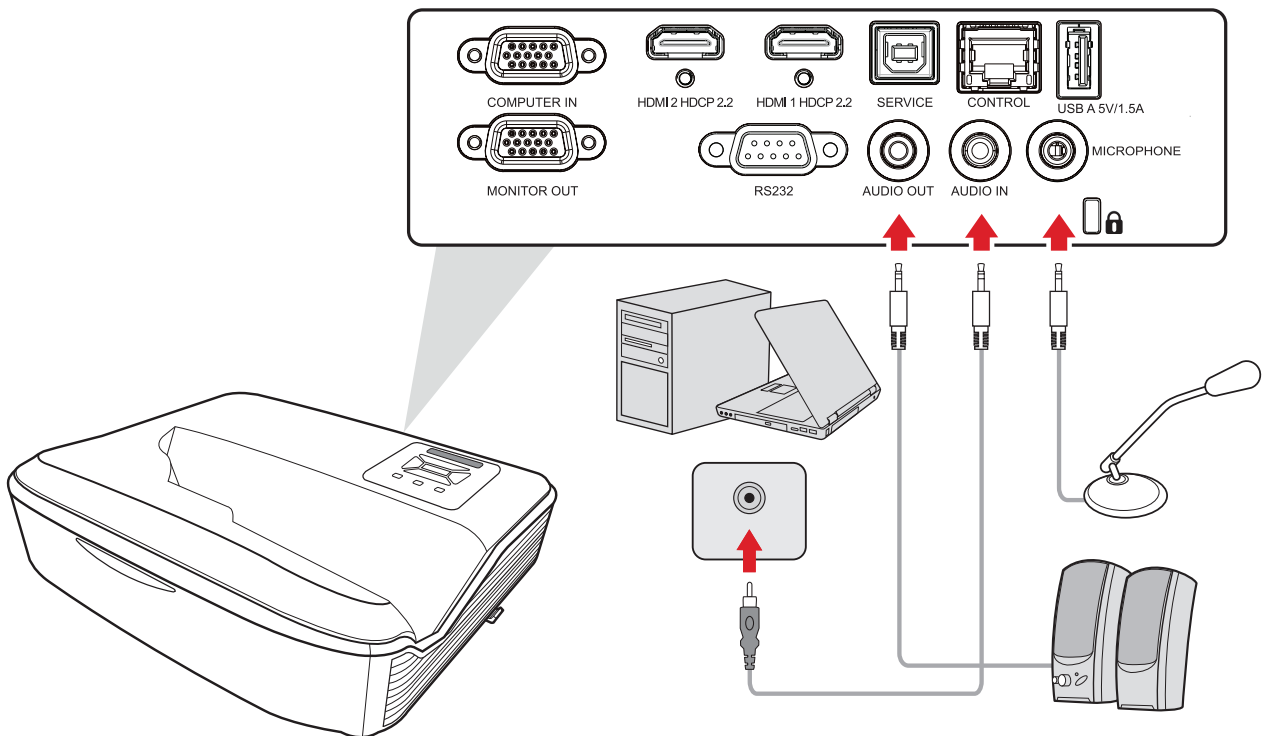
音声出力

プロジェクターから外部スピーカーを介して音声を再生するには、音声ケーブルの一方の端を外部スピーカーに接続し、もう一方の端をプロジェクターの**音声出力**ポートに接続します。

マイク

マイクをマイクポートに直接接続します。

注記： マイク入力のみをサポートします。音声入力をサポートしていません。間違ったケーブルを差し込むと、プロジェクターが損傷する場合があります。



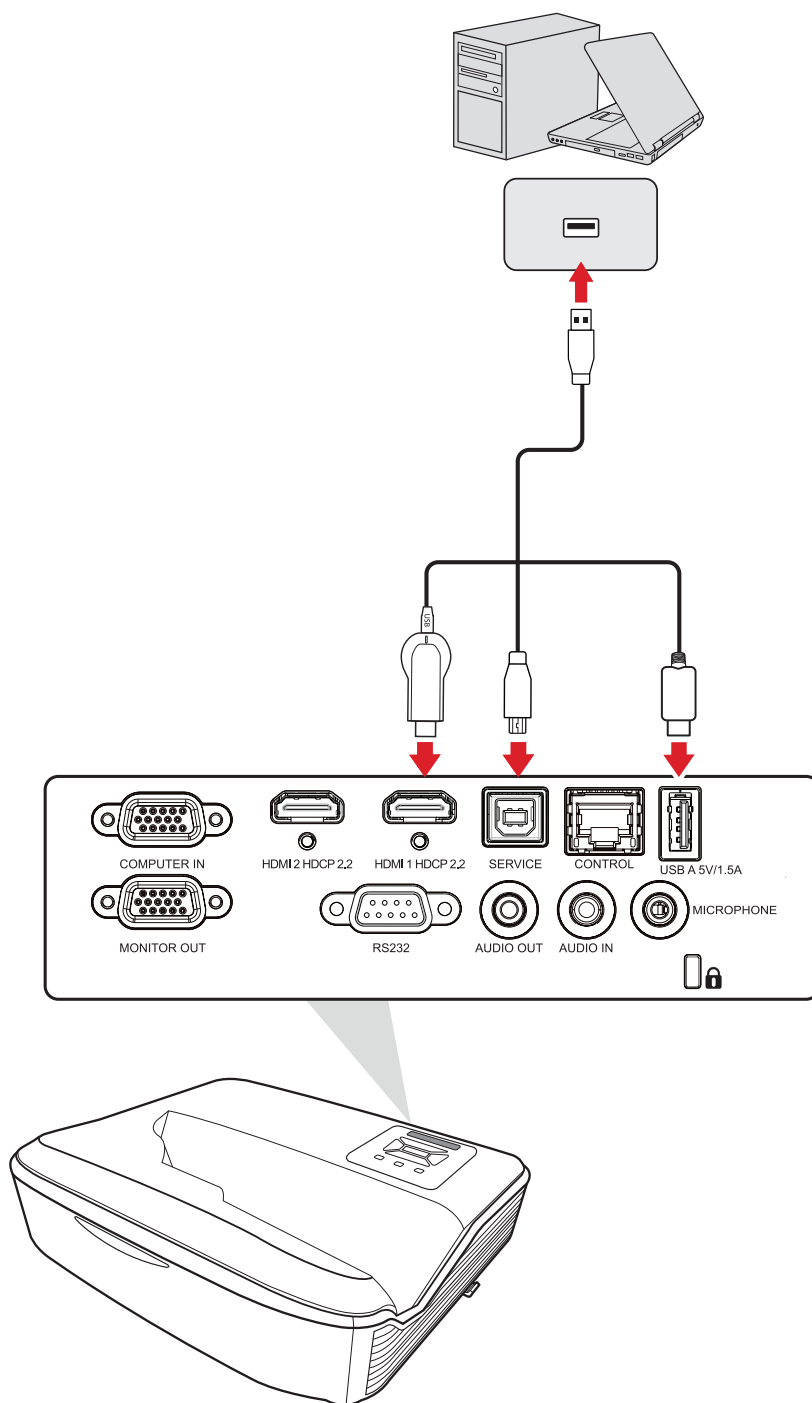
USB接続

USBタイプA接続

USBタイプAポートは、電源(dongle など) を供給するためのものです。

USBタイプB接続

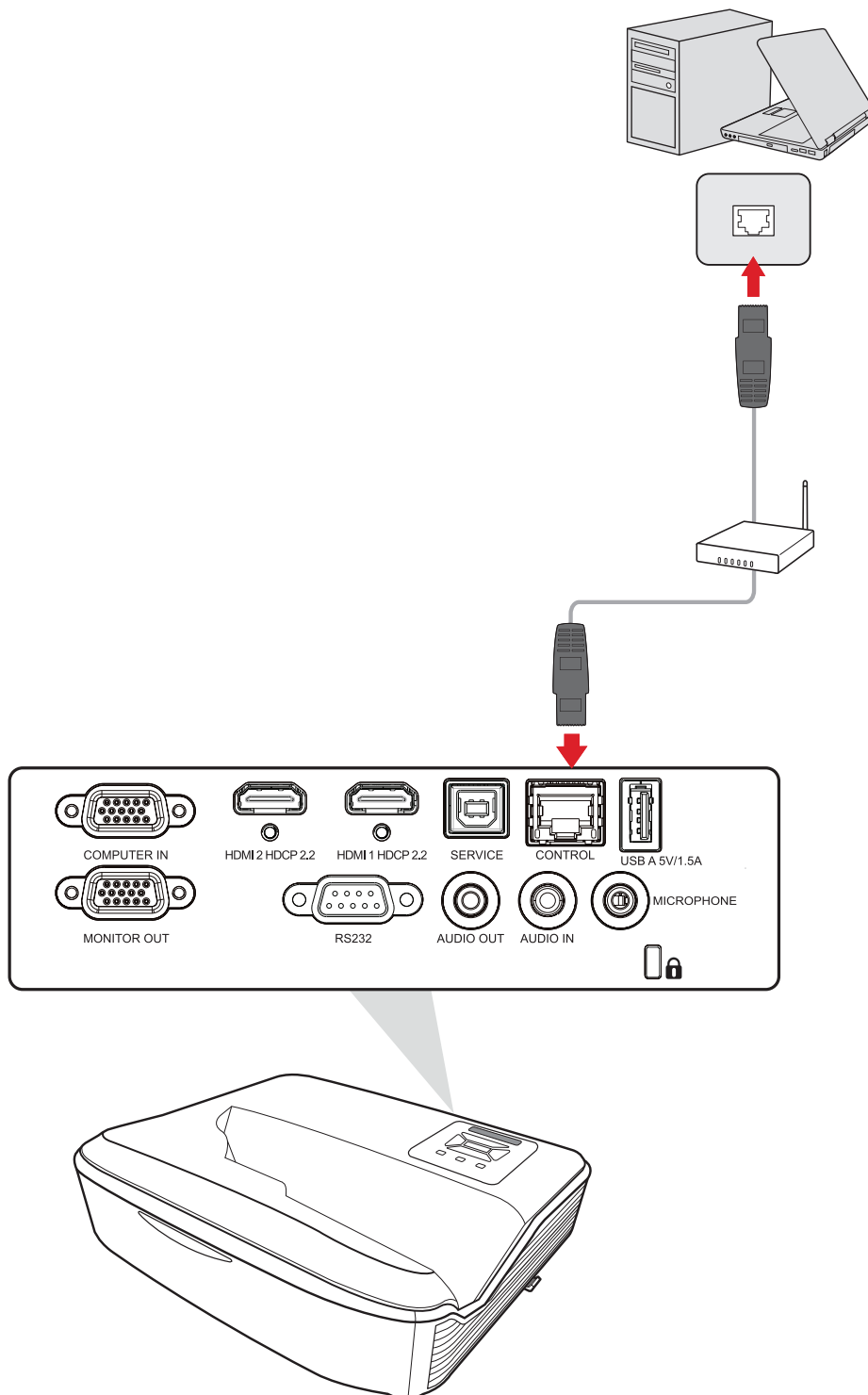
USBタイプBポートは、プロジェクターの保守用です。



ネットワーク接続

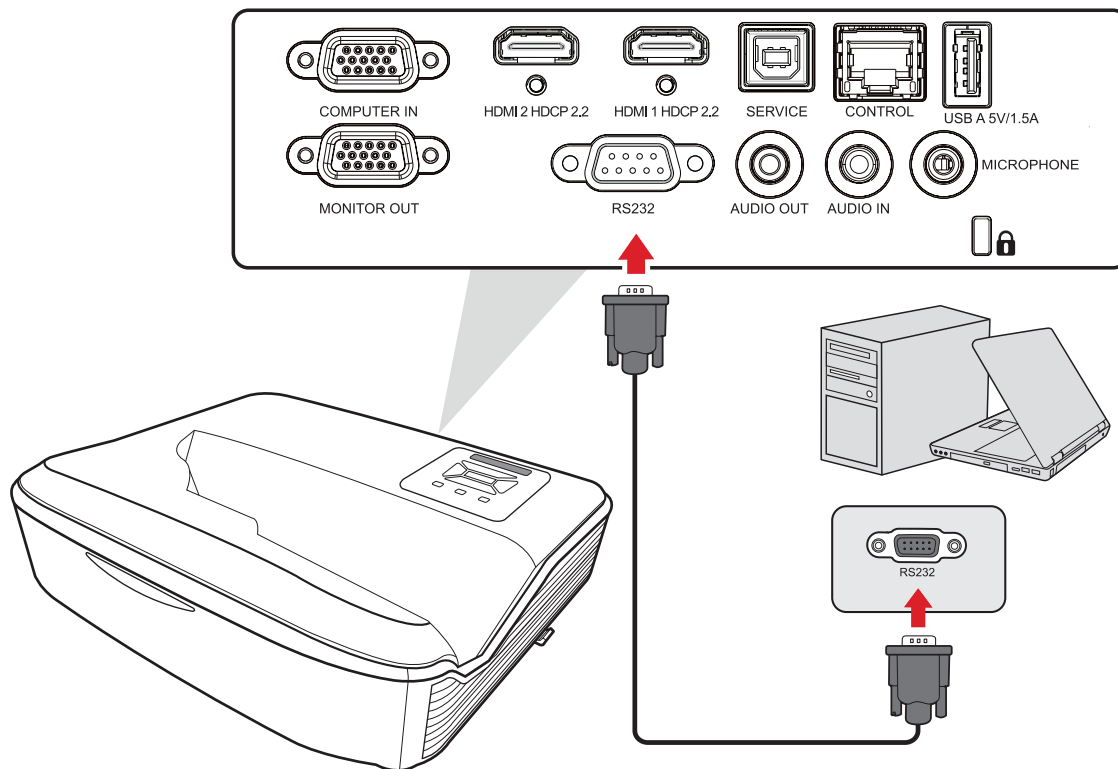
ネットワークケーブルをネットワーク接続用のLANポートに差し込みます。

プロジェクターは、いくつかのネットワークおよびリモート管理機能を提供します。プロジェクターのLAN/RJ45機能により、ネットワーク経由でプロジェクターを遠隔操作できます。



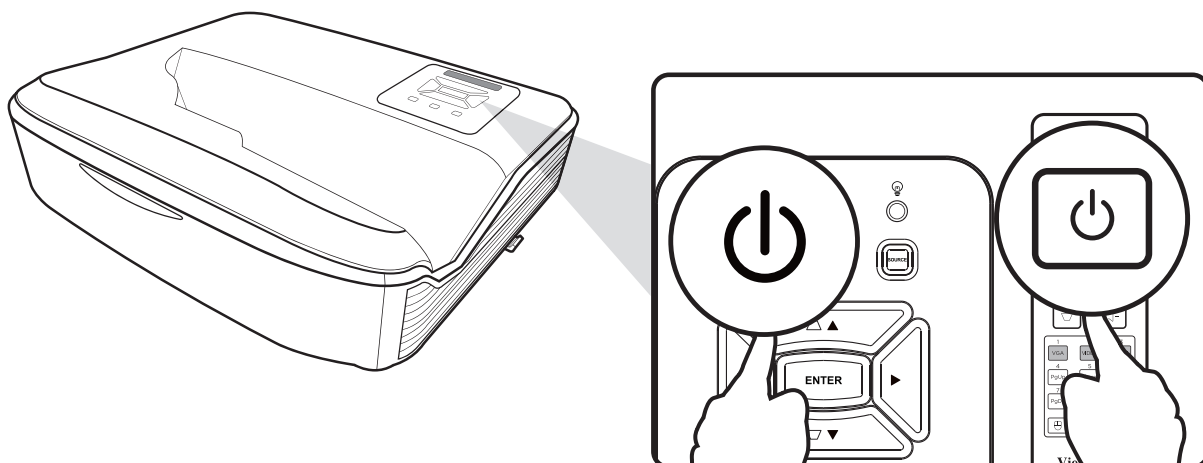
RS-232接続

RS-232シリアルポートケーブルを使用してプロジェクターを外部コンピュータに接続すると、電源のオン/オフ、音量調整、入力選択、輝度など、特定の機能をPCからリモートで制御できます。



プロジェクターの使用法

プロジェクターを起動する



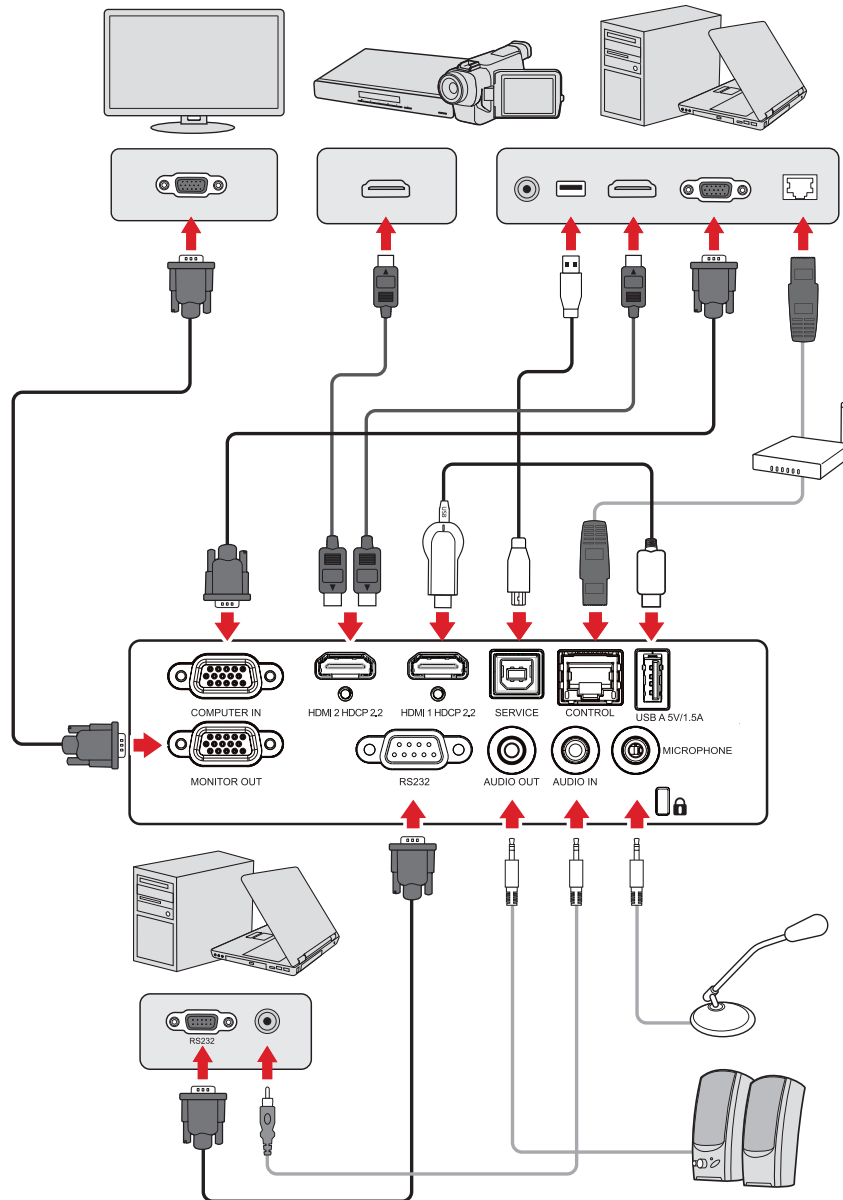
1. プロジェクターの電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
2. プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押して、プロジェクターをオンにします。

注記:

- 起動中に電源インジケータライトが青く点滅します。
- プロジェクターの電源を初めてオンにすると、優先する言語、投影方向、その他の設定を選択するよう求められます。

入力ソースを選択する

プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし、一度に1画面しか表示できません。



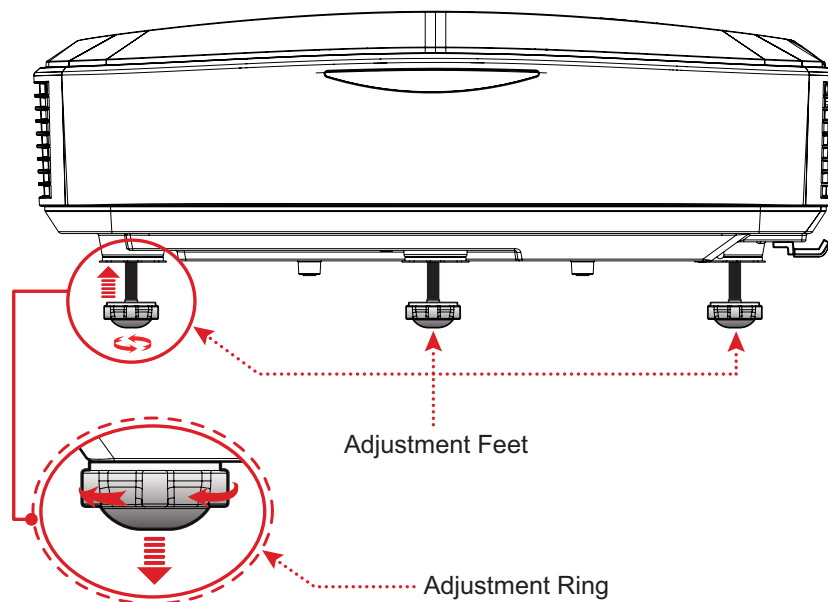
自動ソースがオンの場合、プロジェクターは自動的に入力ソースを検索します。複数のソースが接続されている場合は、プロジェクターまたはリモコンのソースボタンを押して、目的の入力を選択します。

注記： 接続されたソースもオンであることを確認してください。

投影画像を調整する

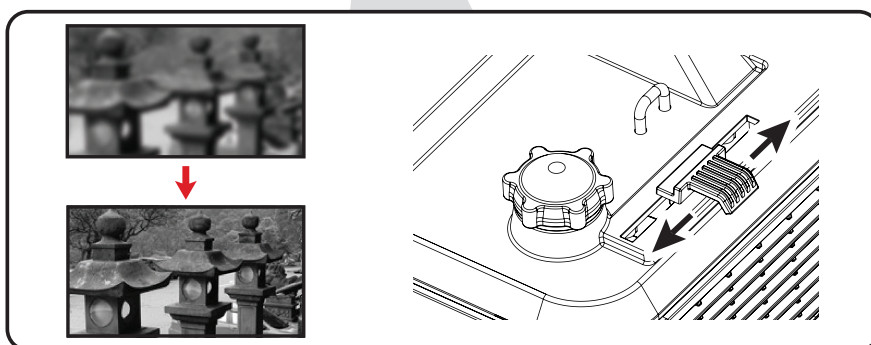
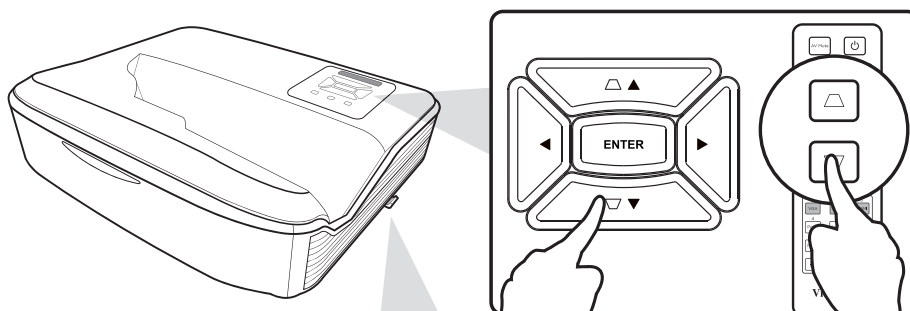
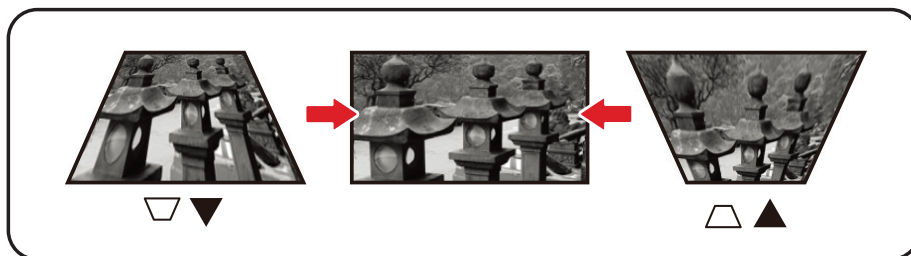
プロジェクターの高さと投影角度を調整する

プロジェクターには3つのアジャスターフットが付属します。フットを調整すると、プロジェクターの高さと垂直投影角度が変わります。



フォーカスとキーストーンの調整

フォーカススイッチまたはキーストーンキーを調整することで、画像の鮮明度と位置を改善および調整できます。



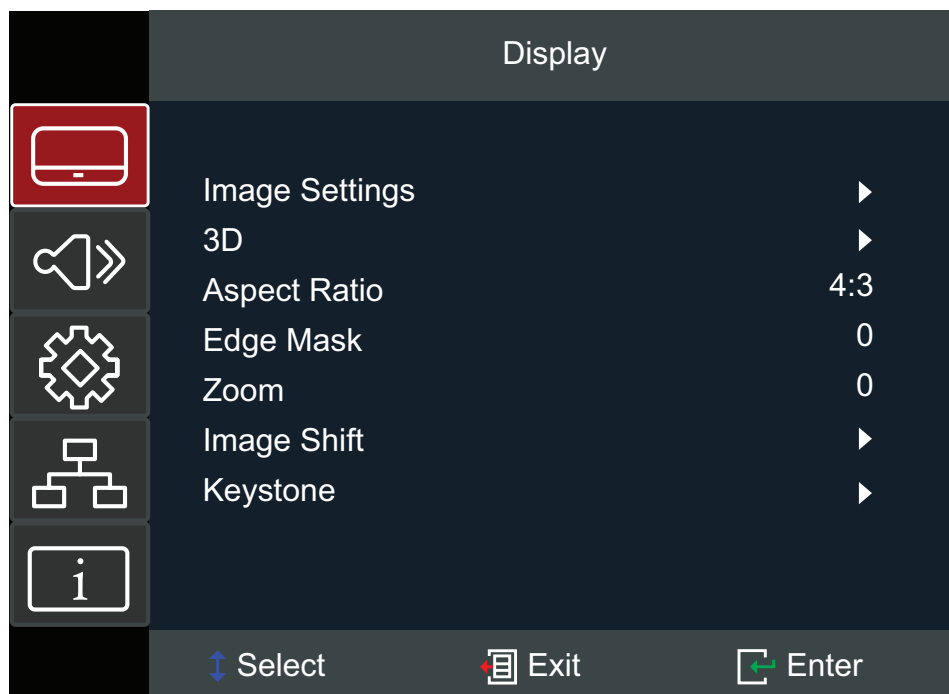
プロジェクターをシャットダウンする

1. プロジェクターまたはリモコンの**電源**ボタンを押すと、「電源オフメッセージ」が表示されます。
2. **電源**ボタンをもう一度押して、確認し、プロジェクターをシャットダウンします。
3. 電源インジケータライトが、赤く点灯し、スタンバイモードに入ります。

プロジェクターを操作する

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー

プロジェクターには、画像調整を行い、さまざまな設定を変更できる多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。



メニュー		詳細
Display (ディスプレイ)		画像、3D、アスペクト比、エッジマスク、ズーム、画像シフト、キーストーン設定を調整します。
Audio (音声)		音量レベルを調整します。または消音します。
Setup (セットアップ)		投影、電源、セキュリティ、言語、メニュー、入力ソースなどの設定を調整します。
Network (ネットワーク)		LAN制御設定を調整します。
Information (情報)		プロジェクターとネットワーク情報を表示します。

メニューナビゲーション

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開くには、プロジェクターまたはリモコンの**メニュー/終了**ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、**ナビゲーション**ボタン(▲▼)を使用して、メインメニューの任意のアイテムを選択します。特定のページで選択を行い、プロジェクターまたはリモコンの**Enter**ボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. **ナビゲーション**ボタン(◀▶)を使用して、サブメニューで目的のアイテムを選択し、**Enter**を押して設定を表示します。**ナビゲーション**ボタン(◀▶)を使用して設定を調整します。
4. サブメニューで調整する次のアイテムを選択し、上記と同じ方法で調整します。
5. **Enter**を押して確認すると、メインメニューに戻ります。
6. 終了するには、**メニュー/終了**ボタンをもう一度押します。OSDメニューが閉じられ、プロジェクターが新しい設定を自動的に保存します。

メインメニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Display (ディスプレイ)	Image Setting (画像設定)	Display Mode (ディスプレイモード)	Presentation (プレゼンテーション)	
			Bright (輝度)	
			HDR SIM	
			Cinema (シネマ)	
			sRGB	
			DICOM SIM	
			Blending (ブレンディング)	
			User (ユーザー)	
			3D	
		Wall Color (壁の色)	Off (オフ)	
			Blackboard (ブラックボード)	
			Light Yellow (明るい黄色)	
			Light Green (明るい緑色)	
			Light Blue (明るい青色)	
			Pink (ピンク)	
			Gray (灰色)	
		Brightness (輝度)	(-/+, -50~50)	
		Contrast (コントラスト)	(-/+, -50~50)	
		Sharpness (シャープネス)	(-/+, 1~15)	
		Color (色)	(-/+, -50~50)	
		Tint (色合い)	(-/+, -50~50)	
		Gamma (ガンマ調整)	Film (フィルム)	
			Video (ビデオ)	
			Graphics (グラフィックス)	
			Standard (2.2) (標準(2.2))	
			1.8	
			2.0	
2.4				
2.6				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション				
Display (ディスプレイ)	Image Setting (画像設定)	Color Settings (カラー設定)	Brilliant Color™	(-/+ , 1~10)		
			Color Temperature (色温度)	Warm (暖色)		
				Standard (標準)		
				Cool (冷色)		
			Color Matching (カラーマッチング)	Color (色)	Red (赤)	
					Green (緑)	
					Blue (青)	
					Cyan (藍色)	
					Yellow (黄色)	
					Magenta (深紅色)	
				White (白色)		
				Hue/R (色相/R)	(-/+ , -50~50)	
				Saturation/G (彩度/G)	(-/+ , -50~50)	
				Gain/B (ゲイン/B)	(-/+ , -50~50)	
			Reset (リセット)			
			Exit (終了)			
			RGB Gain/Bias (RGBゲイン/ バイアス)	Red Gain (赤ゲイン)	(-/+ , -50~50)	
				Green Gain (緑ゲイン)	(-/+ , -50~50)	
				Blue Gain (青ゲイン)	(-/+ , -50~50)	
				Red Bias (赤バイアス)	(-/+ , -50~50)	
				Green Bias (緑バイアス)	(-/+ , -50~50)	
				Blue Bias (青バイアス)	(-/+ , -50~50)	
				Reset (リセット)		
				Exit (終了)		
			Color Space (色空間)	(Non-HDMI Signal) (非HDMI信号)	Auto (自動)	
					RGB	
					YUV	
(HDMI Signal) (HDMI信号)	Auto (自動)					
	RGB (0~255)					
	RGB (16~235)					
YUV						

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Display (ディスプレイ)	Image Setting (画像設定)	Signal(信号)	Automatic (自動)	Off (オフ)	
				On (オン)	
			Frequency (周波数)	(-/+, -10~10)	
			Phase (位相)	(-/+, 0~31)	
			H. Position (水平位置)	(-/+)	
		V. Position (垂直位置)	(-/+)		
		Brightness Mode (輝度モード)	Dynamic Black (ダイナミックブラック)		
			Eco (エコ)		
			Constant Power 100%~20% (一定電力 100%~20%)		
		Reset (リセット)			
	3D	3D Mode (3Dモード)	Off (オフ)		
			DLP-Link		
		3D - 2D	3D		
			L		
			R		
		3D Format (3D形式)	Auto (自動)		
			SBS		
			Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)		
		3D Sync Invert (3D同期反転)	Off(オフ)		
			On(オン)		
	Reset (リセット)				
	Aspect Ratio (アスペクト比)	4:3			
		16:9			
16:10					
LBX					
Native (標準)					
Auto (自動)					
Edge Mask (エッジマスク)	(-/+, 0~10)				
Zoom (ズーム)	(-/+, -5~25)				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Display (ディスプレイ)	Image Shift (画像シフト)	Horizontal (H.) (水平)	(-/+ , -100~100)	
		Vertical (V.) (垂直)	(-/+ , -100~100)	
	Keystone (キーストーン)	Four Corners (4コーナー)	Top-Left (左上)	
			Top-Right (右上)	
			Bottom-Left (左下)	
			Bottom-Right (右下)	
		H. Keystone (水平 キーストーン)	(-/+ , -40~40)	
		V. Keystone (垂直 キーストーン)	(-/+ , -40~40)	
	Reset (リセット)			
	Audio (音声)	Audio Settings (オーディオ設定)	Auto (自動)	
Internal Speaker (内蔵スピーカー)				
Audio Out (音声出力)				
Mute (ミュート)		Off (オフ)		
		On (オン)		
Mic (マイク)		Off (オフ)		
		On (オン)		
Volume (音量)		(-/+ , 0~10)		
Mic Volume (マイク音量)	(-/+ , 0~10)			
Setup (セットアップ)	Projection (投影)	Front Table (前面机上)		
		Rear Table (背面机上)		
		Front Ceiling (前面天井)		
		Rear Ceiling (背面天井)		
	Screen Type (スクリーンタイプ)	16:9		
		16:10		

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Setup (セットアップ)	Filter Settings (フィルター設定)	Filter Usage Hours (フィルター使用時間)			
		Optional Filter Installed (オプションフィルター装着)	No (いいえ)		
			Yes (はい)		
		Filter Reminder (フィルターリマインダー)	Off (オフ)		
			300 hr (300時間)		
			500 hr (500時間)		
			800 hr (800時間)		
	Filter Reset (フィルターリセット)	Cancel (キャンセル)			
		Yes (はい)			
	Power Settings (電源設定)	Direct Power On (直接電源オン)	Off (オフ)		
			On (オン)		
		Signal Power On (信号電源オン)	Off (オフ)		
			On (オン)		
		Sleep Timer (min.) (スリープタイマー(分))	(-/+, 0~990)		
			Always On (常時オン)	No (いいえ)	
	Auto Power Off (自動電源オフ)	(-/+, 0~180) minutes (分)	Yes (はい)		
		Power Mode (Standby) (電源モード (スタンバイ))	Eco (エコ)		
			Active (アクティブ)		
		Security (セキュリティ)	Security (セキュリティ)	Off (オフ)	
	On (オン)				
	Security Timer (セキュリティタイマー)		Month (月)	(-/+, 0~12)	
			Day (日)	(-/+, 0~30)	
		Hour (時間)	(-/+, 0~24)		
Change Password (パスワードの変更)					
HDMI CEC	HDMI CEC	Off (オフ)			
		On (オン)			

メイン メニュー	サブ メニュー	メニューオプション		
	Test Pattern (テストパターン)	Test Pattern (テストパターン)	Off (オフ)	
			Green Grid (緑色 のグリッド)	
			Magenta Grid (マゼンタ色のグ リッド)	
			White Grid (白色 のグリッド)	
			White (白色)	
Setup (セットアッ プ)	Options (オプション)	Language (言語選択)	English	
			Deutsch	
			Français	
			Italiano	
			Español	
			Português	
			Polski	
			Nederlands	
			Svenska	
			Norsk	
			Suomi	
			ελληνικά	
			繁體中文	
			簡体中文	
			日本語	
			한국어	
			Русский	
			Magyar	
			Čeština	
			اىبرع	
			ไทย	
			Türkçe	
			ىسراف	
			Tiếng Việt	
Bahasa Indonesia				
Română				
Slovenčina				

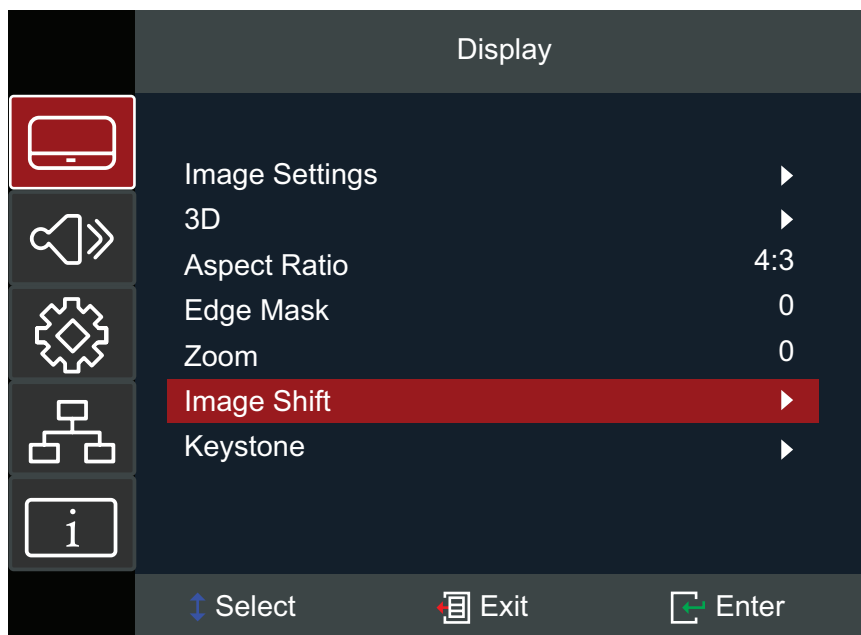
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション				
Setup (セットアップ)	Options (オプション)	Menu Settings (メニュー設定)	Menu Location (メニュー位置)	Top-Left (左上)		
				Top-Right (右上)		
				Center (中央)		
				Bottom-Left (左下)		
				Bottom-Right (右下)		
			Menu Timer (メニュータイマー)	Off (オフ)		
				5 seconds (5秒)		
				10 seconds (10秒)		
			Auto Source (自動ソース)	Off (オフ)		
		On (オン)				
		Input Source (入力ソース)	HDMI 1			
			HDMI 2			
			VGA			
		High Altitude (高地)	Off (オフ)			
			On (オン)			
		Logo (ロゴ)	Default (デフォルト)			
			Neutral (ニュートラル)			
		Background Color (背景色)	None (なし)			
			Blue (青)			
			Red (赤)			
			Green (緑)			
			Gray (灰色)			
			Logo (ロゴ)			
		HDMI Settings (HDMI設定)	HDMI 1 EDID	1.4		
				2.0		
			HDMI 2 EDID	1.4		
				2.0		
Reset(リセット)	Reset to Default (工場出荷時デフォルトにリセット)					

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Network (ネットワーク)	LAN	Network Status (ネットワークステータス)		
		MAC Address (MACアドレス)		
		DHCP	Off (オフ)	
			On (オン)	
		IP Address (IPアドレス)	xxx.xxx.xxx	
		Subnet Mask (サブネットマスク)	xxx.xxx.xxx	
		Gateway (ゲートウェイ)	xxx.xxx.xxx	
		DNS	xxx.xxx.xxx	
	Reset (リセット)			
	Control (制御)	Crestron	Off (オフ)	
			On (オン)	
		Extron	Off (オフ)	
			On (オン)	
		PJ Link	Off (オフ)	
			On (オン)	
		AMX Device Discovery (AMX デバイス検出)	Off (オフ)	
			On (オン)	
		Telnet	Off (オフ)	
On (オン)				
HTTP	Off (オフ)			
	On (オン)			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Information (情報)	Serial Number (シリアル番号)		
	Source (ソース)		
	Resolution (解像度)		
	Refresh Rate (リフレッシュレ ート)		
	Display Mode (ディスプレイ モード)		
	Power Mode (Standby) (電源モード (スタンバイ))		
	Light Source Hours (光源時間)		
	Network Status (ネットワークス テータス)		
	IP Address (IPアドレス)		
	Filter Usage Hours (フィルター 使用時間)		
	Brightness Mode (輝度モード)		
LAN			
MCU			

メニュー操作

Display Menu (ディスプレイメニュー)



メニュー	詳細																				
Image Setting (画像設定)	<p><u>Display Mode (ディスプレイモード)</u> 視聴の好みに合わせて選択できるいくつかの事前定義されたディスプレイモードがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #c00000; color: white;">モード</th> <th style="background-color: #c00000; color: white;">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Presentation (プレゼンテーション)</td> <td>ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Bright (輝度)</td> <td>明るく十分な照明のある環境に適しています。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">HDR SIM</td> <td>Rec.2020色域を使用して、最も深い黒、最も明るい白、そして鮮やかな映画の色のための高ダイナミックレンジ (HDR) コンテンツをデコードして表示します。このモードは、シミュレートされた高ダイナミックレンジ (HDR) で非HDRコンテンツを強化するために選択できます。 注記: HDMI EDID 2.0を選択すると、HDMI 1/2はHDR/HLGフォーマットをサポートできます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Cinema (シネマ)</td> <td>映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">sRGB</td> <td>標準化されたSRGB色域。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">DICOM SIM</td> <td>モノクロ画像の投影に適しています。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">User (ユーザー)</td> <td>ユーザーのカスタム設定。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Blending (ブレンディング)</td> <td>ブレンディング用途に適したビデオモードです。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3D</td> <td>3Dコンテンツ用に最適化されています。 注記: 3Dメガネが必要です。</td> </tr> </tbody> </table>	モード	詳細	Presentation (プレゼンテーション)	ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。	Bright (輝度)	明るく十分な照明のある環境に適しています。	HDR SIM	Rec.2020色域を使用して、最も深い黒、最も明るい白、そして鮮やかな映画の色のための高ダイナミックレンジ (HDR) コンテンツをデコードして表示します。このモードは、シミュレートされた高ダイナミックレンジ (HDR) で非HDRコンテンツを強化するために選択できます。 注記: HDMI EDID 2.0 を選択すると、 HDMI 1/2 はHDR/HLGフォーマットをサポートできます。	Cinema (シネマ)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。	sRGB	標準化されたSRGB色域。	DICOM SIM	モノクロ画像の投影に適しています。	User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。	Blending (ブレンディング)	ブレンディング用途に適したビデオモードです。	3D	3Dコンテンツ用に最適化されています。 注記: 3Dメガネが必要です。
	モード	詳細																			
	Presentation (プレゼンテーション)	ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。																			
	Bright (輝度)	明るく十分な照明のある環境に適しています。																			
	HDR SIM	Rec.2020色域を使用して、最も深い黒、最も明るい白、そして鮮やかな映画の色のための高ダイナミックレンジ (HDR) コンテンツをデコードして表示します。このモードは、シミュレートされた高ダイナミックレンジ (HDR) で非HDRコンテンツを強化するために選択できます。 注記: HDMI EDID 2.0 を選択すると、 HDMI 1/2 はHDR/HLGフォーマットをサポートできます。																			
	Cinema (シネマ)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。																			
	sRGB	標準化されたSRGB色域。																			
	DICOM SIM	モノクロ画像の投影に適しています。																			
	User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。																			
	Blending (ブレンディング)	ブレンディング用途に適したビデオモードです。																			
3D	3Dコンテンツ用に最適化されています。 注記: 3Dメガネが必要です。																				

メニュー	詳細
Image Setting (画像設定)	<p><u>Wall Color (壁の色)</u> スクリーンなしで壁に投影するときに、投影された画像の色を調整するように設計されています。</p> <p>注記: より正確な色の再現には、スクリーンの使用が推奨されます。</p>
	<p><u>Brightness (輝度)</u> 値が大きいほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。</p>
	<p><u>Contrast (コントラスト)</u> 選択した入力と視聴環境に合うように、Brightness (輝度) 設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。</p>
	<p><u>Sharpness (シャープネス)</u> 値が大きいほど鮮明な画像になります。低い値では画像が柔らかくなります。</p>
	<p><u>Color (色)</u> 白黒から完全に飽和した色に画像を調整します。</p>
	<p><u>Tint (色合い)</u> 値が高いほど、画像は緑色が強くなります。値が低いほど、画像は赤色が強くなります。</p>
	<p><u>Gamma (ガンマ調整)</u> 入力ソースと画像輝度の関係を反映しています。</p>

メニュー	詳細												
Image Setting (画像設定)	Color Settings (カラー設定)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="507 230 790 280">設定</th> <th data-bbox="790 230 1396 280">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="507 280 790 403">Brilliant Color™</td> <td data-bbox="790 280 1396 403">画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 403 790 492">Color Temperature (色温度)</td> <td data-bbox="790 403 1396 492">Warm (暖色)、Standard (標準)、Cool (冷色) から選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 492 790 1108">Color Matching (カラーマッチング)</td> <td data-bbox="790 492 1396 1108"> <p>会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、カラーマッチングを検討する必要があります。</p> <p>カラーマッチングは、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。</p> <p>さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Matching (カラーマッチング) メニューに入り、調整することができます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 1108 790 1232">RGB Gain/Bias (RGBゲイン/バイアス)</td> <td data-bbox="790 1108 1396 1232">輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="507 1232 790 1529">Color Space (色空間)</td> <td data-bbox="790 1232 1396 1529"> <p><u>non-HDMI input only (非HDMI入力のみ)</u> : 次の中から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: AUTO (自動)、RGB、YUV。</p> <p><u>HDMI input only (HDMI入力のみ)</u> : 次の中から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: Auto (自動)、RGB(0~255)、RGB(16~235)、YUV。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	設定	詳細	Brilliant Color™	画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。	Color Temperature (色温度)	Warm (暖色)、Standard (標準)、Cool (冷色) から選択します。	Color Matching (カラーマッチング)	<p>会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、カラーマッチングを検討する必要があります。</p> <p>カラーマッチングは、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。</p> <p>さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Matching (カラーマッチング) メニューに入り、調整することができます。</p>	RGB Gain/Bias (RGBゲイン/バイアス)	輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成します。	Color Space (色空間)	<p><u>non-HDMI input only (非HDMI入力のみ)</u> : 次の中から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: AUTO (自動)、RGB、YUV。</p> <p><u>HDMI input only (HDMI入力のみ)</u> : 次の中から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: Auto (自動)、RGB(0~255)、RGB(16~235)、YUV。</p>
	設定	詳細											
	Brilliant Color™	画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。											
	Color Temperature (色温度)	Warm (暖色)、Standard (標準)、Cool (冷色) から選択します。											
	Color Matching (カラーマッチング)	<p>会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、カラーマッチングを検討する必要があります。</p> <p>カラーマッチングは、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。</p> <p>さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Matching (カラーマッチング) メニューに入り、調整することができます。</p>											
RGB Gain/Bias (RGBゲイン/バイアス)	輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成します。												
Color Space (色空間)	<p><u>non-HDMI input only (非HDMI入力のみ)</u> : 次の中から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: AUTO (自動)、RGB、YUV。</p> <p><u>HDMI input only (HDMI入力のみ)</u> : 次の中から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: Auto (自動)、RGB(0~255)、RGB(16~235)、YUV。</p>												

Image Setting
(画像設定)Signal (信号)

信号オプションを調整します。

設定	詳細
Automatic (自動)	信号を自動的に構成します (Frequency (周波数) と Phase (位相) はグレー表示されます)。Automatic (自動) が無効になっている場合は、Frequency (周波数) と Phase (位相) を調整できます。
Frequency (周波数)	ディスプレイのデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカードの周波数と一致させます。この機能は、画像が縦方向にちらつくように見える場合にのみ使用してください。
Phase (位相)	ディスプレイの信号タイミングをグラフィックスカードと同期させます。画像が不安定に見える場合は、この機能を使用して修正します。
H. Position (水平位置)	画像の水平位置を調整します。
V. Position (垂直位置)	画像の垂直位置を調整します。

注記: このメニューは、入力ソースがRGB/コンポーネントの場合にのみ使用できます。

Brightness Mode (輝度モード)

モード	詳細
Dynamic Black (ダイナミックブラック)	最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。
Eco (エコ)	光出力を暗くし、消費電力を低下させます。
Constant Power (一定電力)	輝度モードでは、電力率 (20%~100%) を選択します。

Reset (リセット)

現在のディスプレイモード設定 (Brightness (明るさ)、Contrast (コントラスト)、Sharpness (シャープネス)、Color (色)、Tint (色合い)、Gamma (ガンマ)、Brilliant Color™、Color Temperature (色温度)、Color Matching (カラーマッチング)、RGB Gain/Bias (RGB ゲイン/バイアス)、Color Space (色空間)、温度、カラーマッチング、RGBゲイン/バイアス、色空間、輝度モード) をデフォルト値に戻しBrightness Mode (輝度モード)、Signal settings (信号設定)) をデフォルト値に戻します。

メニュー	詳細									
3D	<u>3D Mode (3Dモード)</u> 3D機能を有効または無効にします。									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #c00000; color: white;">オプション</th> <th style="background-color: #c00000; color: white;">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Off (オフ)</td> <td>DLP-Link機能をオフにします。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">DLP-Link</td> <td>DLP 3Dメガネ用に最適化された設定。</td> </tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	Off (オフ)	DLP-Link機能をオフにします。	DLP-Link	DLP 3Dメガネ用に最適化された設定。			
	オプション	詳細								
	Off (オフ)	DLP-Link機能をオフにします。								
	DLP-Link	DLP 3Dメガネ用に最適化された設定。								
	<u>3D-2D</u> 3Dコンテンツを画面に表示する方法を選択します。									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #c00000; color: white;">オプション</th> <th style="background-color: #c00000; color: white;">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3D</td> <td>3D信号を表示します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">L (Left) (左)</td> <td>3Dコンテンツの左フレームを表示します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R (Right) (右)</td> <td>3Dコンテンツの右フレームを表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	3D	3D信号を表示します。	L (Left) (左)	3Dコンテンツの左フレームを表示します。	R (Right) (右)	3Dコンテンツの右フレームを表示します。	
	オプション	詳細								
	3D	3D信号を表示します。								
	L (Left) (左)	3Dコンテンツの左フレームを表示します。								
R (Right) (右)	3Dコンテンツの右フレームを表示します。									
<u>3D Format (3D形式)</u> 3Dコンテンツ形式を選択します。 注記: Blu-ray 3Dソースは自動的に検出され、オプションは選択できません。										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #c00000; color: white;">オプション</th> <th style="background-color: #c00000; color: white;">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Auto (自動)</td> <td>3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SBS</td> <td>サイドバイサイド形式で表示します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)</td> <td>トップアンドボトム形式で表示します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Frame Sequential (フレームシーケンシャル)</td> <td>フレームシーケンシャル形式で表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	Auto (自動)	3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。	SBS	サイドバイサイド形式で表示します。	Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。	Frame Sequential (フレームシーケンシャル)	フレームシーケンシャル形式で表示します。
オプション	詳細									
Auto (自動)	3D識別信号が検出されると、3D形式が自動的に選択されます。									
SBS	サイドバイサイド形式で表示します。									
Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。									
Frame Sequential (フレームシーケンシャル)	フレームシーケンシャル形式で表示します。									
<u>3D Sync Invert (3D同期反転)</u> 3D同期反転機能を有効または無効にします。										
<u>Reset (リセット)</u> 現在の3D設定をデフォルト値に戻します。										

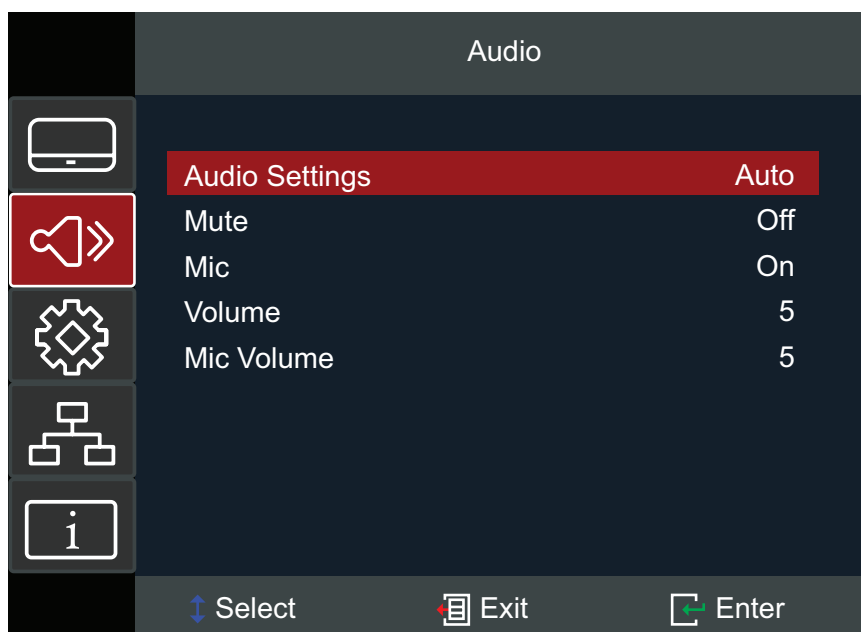
注記:

- このプロジェクターは、DLP-Link 3Dソリューションを備えた3D対応プロジェクターです。3DメガネがDLP-Link 3D用であることを確認してください。このプロジェクターは、HDMI 1/HDMI 2/VGAポートを介してフレームシーケンシャル (Page-Flip) 3Dをサポートします。最高性能を達成するには、1920 x 1080の解像度をお勧めします。4K (3840 x 2160) の解像度は3Dモードではサポートされていないことに注意してください。

メニュー	詳細																					
Aspect Ratio (アスペクト比)	投影画像のアスペクト比を選択します。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="544 219 826 271">アスペクト比</th> <th data-bbox="826 219 1358 271">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="544 271 826 551"> 4:3 </td> <td data-bbox="826 271 1358 551"> 4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="544 551 826 752"> 16:9 </td> <td data-bbox="826 551 1358 752"> 16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="544 752 826 954"> 16:10 </td> <td data-bbox="826 752 1358 954"> 16:10のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、アスペクト比を変更せずに表示するため、既にアスペクト比が16:10の画像に最適です。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="544 954 826 1122"> LBX </td> <td data-bbox="826 954 1358 1122"> 非16:9レターボックスソースの場合、外部16:9レンズを使用して2.35:1のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="544 1122 826 1323"> Native (標準) </td> <td data-bbox="826 1122 1358 1323"> 画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="544 1323 826 1563"> Auto (自動) </td> <td data-bbox="826 1323 1358 1563"> プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="454 1563 1441 1753"> <p>注記: Screen Type (スクリーンタイプ) が16:9の場合、アスペクト比16:10は使用できません。Screen Type (スクリーンタイプ) が16:10の場合、アスペクト比16:9は使用できません。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="151 1753 454 1850"> Edge Mask (エッジマスク) </td> <td data-bbox="454 1753 1441 1850"> ビデオソースの端にあるビデオエンコーディングノイズを削除します。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="151 1850 454 1910"> Zoom (ズーム) </td> <td data-bbox="454 1850 1441 1910"> 投影画像を縮小または拡大します。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="151 1910 454 2000"> Image Shift (画像シフト) </td> <td data-bbox="454 1910 1441 2000"> 投影画像を水平または垂直に調整します。 </td> </tr> </tbody> </table>	アスペクト比	詳細	4:3	4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。	16:9	16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。	16:10	16:10のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、アスペクト比を変更せずに表示するため、既にアスペクト比が16:10の画像に最適です。	LBX	非16:9レターボックスソースの場合、外部16:9レンズを使用して2.35:1のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。	Native (標準)	画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。	Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。	<p>注記: Screen Type (スクリーンタイプ) が16:9の場合、アスペクト比16:10は使用できません。Screen Type (スクリーンタイプ) が16:10の場合、アスペクト比16:9は使用できません。</p>	Edge Mask (エッジマスク)	ビデオソースの端にあるビデオエンコーディングノイズを削除します。	Zoom (ズーム)	投影画像を縮小または拡大します。	Image Shift (画像シフト)	投影画像を水平または垂直に調整します。
	アスペクト比	詳細																				
	4:3	4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。																				
	16:9	16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。																				
	16:10	16:10のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、アスペクト比を変更せずに表示するため、既にアスペクト比が16:10の画像に最適です。																				
	LBX	非16:9レターボックスソースの場合、外部16:9レンズを使用して2.35:1のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。																				
Native (標準)	画像を元の解像度で投影し、表示領域内に収まるようにサイズ変更します。より低い解像度の入力信号の場合、投影された画像は元のサイズで表示されます。																					
Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。																					
<p>注記: Screen Type (スクリーンタイプ) が16:9の場合、アスペクト比16:10は使用できません。Screen Type (スクリーンタイプ) が16:10の場合、アスペクト比16:9は使用できません。</p>																						
Edge Mask (エッジマスク)	ビデオソースの端にあるビデオエンコーディングノイズを削除します。																					
Zoom (ズーム)	投影画像を縮小または拡大します。																					
Image Shift (画像シフト)	投影画像を水平または垂直に調整します。																					

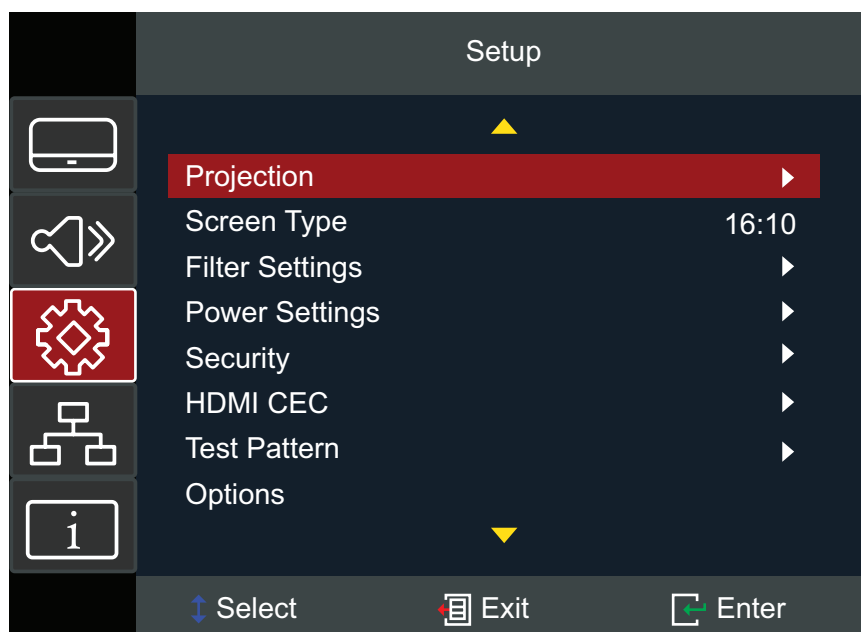
メニュー	詳細	
<p style="text-align: center;">Keystone (キーストーン)</p>	<p style="text-align: center;">オプション</p>	<p style="text-align: center;">詳細</p>
	<p style="text-align: center;">Four Corners (4コーナー)</p>	<p>投影面が水平でないときに、各コーナーを調整して正方形の画像を作成します。</p> <p>注記: 4コーナーを調整すると、アスペクト比、エッジマスク、画像シフト、ズームメニューが無効になります。それらを有効にするには、キーストーン設定をデフォルトにリセットします。</p>
	<p style="text-align: center;">H. Keystone (水平 キーストーン)</p>	<p>画像の歪みを水平に調整します。</p>
	<p style="text-align: center;">V. Keystone (垂直 キーストーン)</p>	<p>画像の歪みを垂直に調整します。</p>
<p style="text-align: center;">Reset (リセット)</p>	<p>キーストーン設定をデフォルトに戻します。</p>	

Audio Menu (オーディオメニュー)



メニュー	詳細
Audio Settings (オーディオ設定)	音声出力デバイスを選択します。
Mute (ミュート)	一時的に音をオフにします。
Mic (マイク)	マイクを有効または無効にします。 注記: マイク入力のみをサポートします。音声入力をサポートしていません。間違ったケーブルを差し込むと、プロジェクターが損傷する場合があります。
Volume (音量)	音量レベルを調整します。
Mic Volume (マイク音量)	マイクの音量レベルを調整します。

Setup Menu (セットアップメニュー)



メニュー	詳細
Projection (投影)	優先される投影 (フロント、リア、天井トップ、リアトップ) を選択します。
Screen Type (スクリーンタイプ)	スクリーンタイプを16:9と16:10から選択します。 注記: Screen Type (スクリーンタイプ) が16:9の場合、アスペクト比16:10は使用できません。Screen Type (スクリーンタイプ) が16:10の場合、アスペクト比16:9は使用できません。
Filter Settings (フィルター設定)	フィルター設定を表示して調整します。 注記: <ul style="list-style-type: none"> ダストフィルターはパッケージに含まれていない場合があります (国によって異なります)。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。 ダストフィルターを取り付けた後、[Optional Filter Installed (オプションフィルター装着)] > [YES (はい)] を選択し、Filter Reminder (フィルターリマインダー) を設定します。カウンターにフィルター使用時間が表示されます。

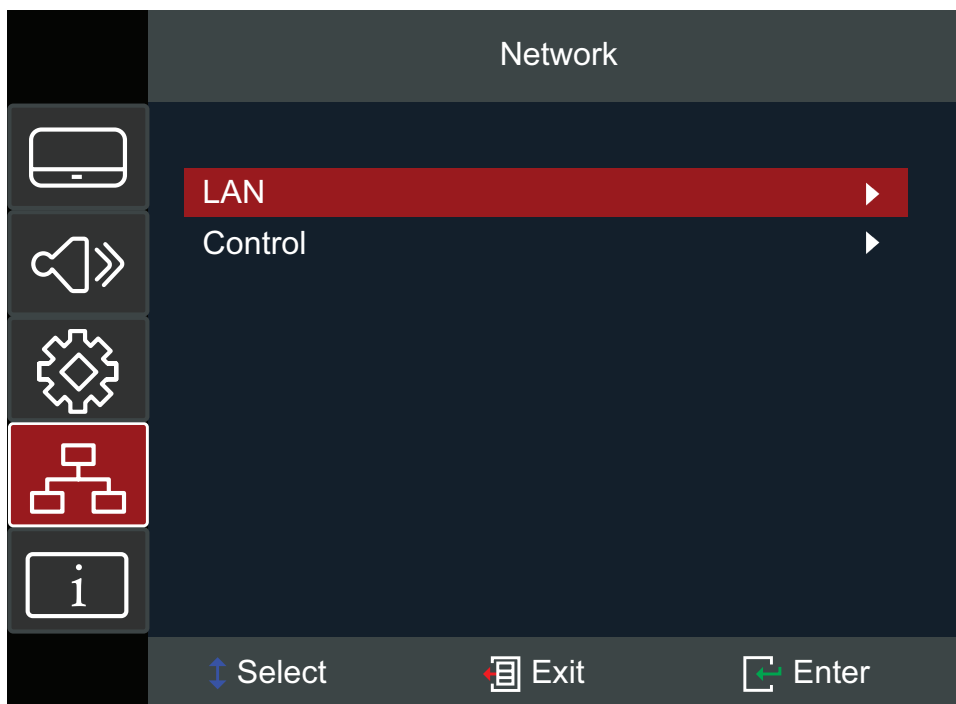
メニュー	詳細						
Power Settings (電源設定)	<u>Direct Power On (直接電源オン)</u> プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押すことなく、AC電源が供給されるときにプロジェクターに自動的に電源を入れます。						
	<u>Signal Power On (信号電源オン)</u> プロジェクターまたはリモコンに電源ボタンを押すことなく、信号が検出されたときにプロジェクターに自動的に電源を入れます。						
	<u>Auto Power Off (自動電源オフ)</u> プロジェクターに信号が送信されていないときに、カウントダウンタイマーが開始されます。カウントダウンが終了すると、プロジェクターは自動的に電源が切れます (数分後)。						
	<u>Sleep Timer (スリープタイマー)</u>						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="595 770 871 824">オプション</th> <th data-bbox="871 770 1383 824">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="595 824 871 1146"> Sleep Timer (スリープタイマー) </td> <td data-bbox="871 824 1383 1146"> 光源寿命の不必要な浪費を防ぐために、設定した時間が経過するとプロジェクターが自動的にオフになるようにします。 注記: Sleep Timer (スリープタイマー) は、プロジェクターの電源がオフになるたびにリセットされます。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="595 1146 871 1272"> Always On (常時オン) </td> <td data-bbox="871 1146 1383 1272"> Sleep Timer (スリープタイマー) を常にオンに設定する場合にオンにします。 </td> </tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	Sleep Timer (スリープタイマー)	光源寿命の不必要な浪費を防ぐために、設定した時間が経過するとプロジェクターが自動的にオフになるようにします。 注記: Sleep Timer (スリープタイマー) は、プロジェクターの電源がオフになるたびにリセットされます。	Always On (常時オン)	Sleep Timer (スリープタイマー) を常にオンに設定する場合にオンにします。
	オプション	詳細					
Sleep Timer (スリープタイマー)	光源寿命の不必要な浪費を防ぐために、設定した時間が経過するとプロジェクターが自動的にオフになるようにします。 注記: Sleep Timer (スリープタイマー) は、プロジェクターの電源がオフになるたびにリセットされます。						
Always On (常時オン)	Sleep Timer (スリープタイマー) を常にオンに設定する場合にオンにします。						
<u>Power Mode (Standby) (電源モード(スタンバイ))</u>							
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="595 1346 871 1400">モード</th> <th data-bbox="871 1346 1383 1400">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="595 1400 871 1487"> Active (アクティブ) </td> <td data-bbox="871 1400 1383 1487"> 通常スタンバイ (> 0.5W) では、VGA出力とLAN電源が利用可能です。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="595 1487 871 1624"> Eco (エコ) </td> <td data-bbox="871 1487 1383 1624"> VGA出力とLAN電源が利用できない場合に、消費電力を削減します (< 0.5W)。 </td> </tr> </tbody> </table>	モード	詳細	Active (アクティブ)	通常スタンバイ (> 0.5W) では、VGA出力とLAN電源が利用可能です。	Eco (エコ)	VGA出力とLAN電源が利用できない場合に、消費電力を削減します (< 0.5W)。	
モード	詳細						
Active (アクティブ)	通常スタンバイ (> 0.5W) では、VGA出力とLAN電源が利用可能です。						
Eco (エコ)	VGA出力とLAN電源が利用できない場合に、消費電力を削減します (< 0.5W)。						

メニュー	詳細
<p align="center">Security (セキュリティ)</p>	<p><u>Security (セキュリティ)</u> プロジェクターを使用する前に、パスワードプロンプトを有効または無効にします。 注記: デフォルトのパスワードは次のとおりです: 1234</p> <p><u>Security Timer (セキュリティタイマー)</u> プロジェクターを使用できる時間を設定します。この時間が経過すると、パスワードを再度入力するように要求されます。</p> <p><u>Change Password (パスワードの変更)</u> パスワードを設定または変更します。 注記: OSDメッセージに従って、最初に現在のパスワードを入力し、次に新しいパスワード(セキュリティコード)を入力してください。新しいパスワードをもう一度入力して、新しいパスワードを確認します。</p>
<p align="center">HDMI CEC</p>	<p>HDMI CEC互換性のあるデバイスをHDMIケーブルを使用してプロジェクターに接続すると、プロジェクターのOSDのHDMI CEC制御機能を使用して、同じ電源オンまたは電源オフステータスでプロジェクターを制御できます。これにより、グループ内の1つのデバイスまたは複数のデバイスをHDMI CECを介して電源を入れたり、電源を切ったりすることができます。</p> <p>注記:</p> <ul style="list-style-type: none"> • CEC機能が正常に動作するためには、デバイスがHDMIケーブルを介してプロジェクターのHDMI入力に正しく接続され、そのCEC機能がオンになっていることを確認してください。 • 接続されたデバイスによっては、CEC機能が機能しない場合があります。
<p align="center">Test Pattern (テストパターン)</p>	<p>緑色のグリッド、マゼンタ色のグリッド、白色のグリッド、白色からテストパターンを選択するか、この機能を無効(オフ)にします。</p>

メニュー	詳細					
Options (オプション)	<p><u>Language (言語選択)</u> オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの言語を選択します。</p> <p><u>Menu Settings (メニュー設定)</u> スクリーン上のメニュー位置を設定し、メニュータイマー設定を構成します。</p> <p><u>Auto Source (自動ソース)</u> 利用可能な入力ソースを見つけます。</p>					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 555 815 600">オプション</th> <th data-bbox="815 555 1362 600">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 600 815 725">Off (オフ)</td> <td data-bbox="815 600 1362 725">現在の入力選択のみを検索します。Source (ソース) ボタンを押すと、ソースのリストが表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 725 815 1001">オン</td> <td data-bbox="815 725 1362 1001">利用可能な入力ソースを自動的に見つけます。Source (ソース) ボタンを押すと、次のソースが自動的に検出されます。 注記: スキャンの順序は次のとおりです:HDMI 1 > HDMI 2 > VGA。</td> </tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	Off (オフ)	現在の入力選択のみを検索します。 Source (ソース) ボタンを押すと、ソースのリストが表示されます。	オン
オプション	詳細					
Off (オフ)	現在の入力選択のみを検索します。 Source (ソース) ボタンを押すと、ソースのリストが表示されます。					
オン	利用可能な入力ソースを自動的に見つけます。 Source (ソース) ボタンを押すと、次のソースが自動的に検出されます。 注記: スキャンの順序は次のとおりです: HDMI 1 > HDMI 2 > VGA。					
	<p><u>Input Source (入力ソース)</u> 入力信号HDMI 1、HDMI 2、またはVGA。</p> <p><u>High Altitude (高地)</u> オンのとき、ファンはより速くスピンして、冷却と性能を向上させます。これは、空気が薄い高地環境に役立ちます。</p> <p><u>Logo (ロゴ)</u> 「起動画面」を設定します。変更が行われた場合、プロジェクターが次に電源を入れたときに有効になります。</p> <p><u>Background Color (背景色)</u> 信号が使用できない場合は、青、赤、緑、または灰色の色、またはロゴ画面を表示します。 注記: 背景色がなしに設定されている場合、背景色は黒になります。</p>					

メニュー	詳細						
Options (オプション)	<p>HDMI Settings (HDMI設定) HDMI設定を構成します。</p> <table border="1" data-bbox="550 273 1362 719"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 273 815 324">オプション</th> <th data-bbox="815 273 1362 324">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 324 815 459">EDID 1.4</td> <td data-bbox="815 324 1362 459">1080pソース (Xbox 360、Cable Box、Satellite Boxなど) を使用する場合は、このオプションを選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 459 815 719">EDID 2.0</td> <td data-bbox="815 459 1362 719">1080p HDRソース (Xbox One SまたはPS4など) および4K HDRソース (4K HDR Blu-ray Player、Roku Ultra 4K、SHIELD TV、Xbox One X、PS4 Proなど) を使用する場合は、このオプションを選択します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記: HDMIソースの色が異常である場合、および/またはカラーバンディングがある場合は、EDIDを1.4に変更します。</p>	オプション	詳細	EDID 1.4	1080pソース (Xbox 360、Cable Box、Satellite Boxなど) を使用する場合は、このオプションを選択します。	EDID 2.0	1080p HDRソース (Xbox One SまたはPS4など) および4K HDRソース (4K HDR Blu-ray Player、Roku Ultra 4K、SHIELD TV、Xbox One X、PS4 Proなど) を使用する場合は、このオプションを選択します。
オプション	詳細						
EDID 1.4	1080pソース (Xbox 360、Cable Box、Satellite Boxなど) を使用する場合は、このオプションを選択します。						
EDID 2.0	1080p HDRソース (Xbox One SまたはPS4など) および4K HDRソース (4K HDR Blu-ray Player、Roku Ultra 4K、SHIELD TV、Xbox One X、PS4 Proなど) を使用する場合は、このオプションを選択します。						
Reset (リセット)	<p>設定をデフォルトに戻します。</p> <p>注記: リセットする場合、次の設定はそのまま維持されます: High Altitude (高地)、Keystone Settings (キーストーン設定)、Language (言語)、Light Source Hours (光源時間)、Network Settings (ネットワーク設定)、Projection (投影)、Power Mode (Standby) (電源モード(スタンバイ))、Security Settings (セキュリティ設定)、Zoom (ズーム)。</p> <p>Security (セキュリティ) がOn (オン) の場合、システムはリセットを続行するためにパスワードを要求します。</p>						

Network Menu (ネットワークメニュー)



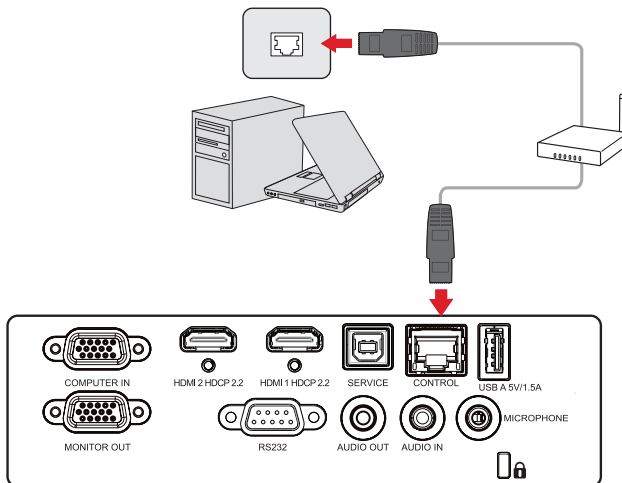
メニュー	詳細
LAN	ネットワーク情報を表示し、DHCPを有効/無効にします。
Control (制御)	<p>ネットワーク制御スイートを有効または無効にします。</p> <p>注記: 正常に接続するには、制御スイートを有効にする必要があります。</p> 

ネットワークを介してプロジェクターを制御する

プロジェクターは、多様なネットワーク管理機能とリモート管理機能を提供します。プロジェクターのLAN/RJ45機能(電源のオン/オフ、音量調整、入力選択、輝度など)は、ネットワークを介してリモートで管理できます。

注記: [Network(ネットワーク)] > [Control(制御)] > [HTTP]が有効になっていることを確認してください。

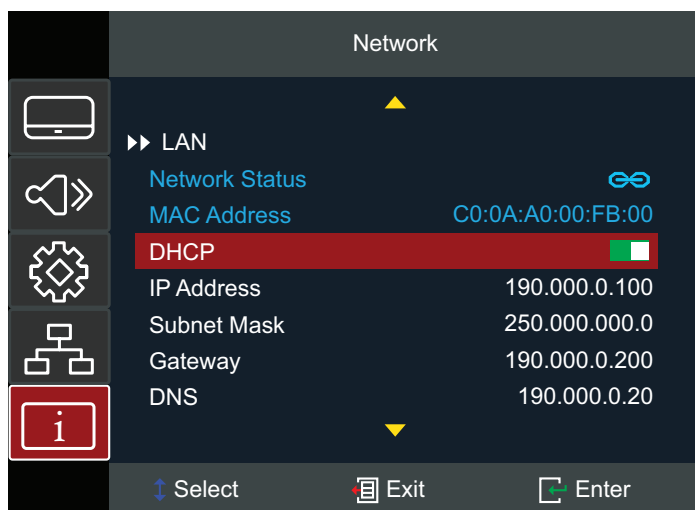
1. LAN/RJ45ポートを介してプロジェクターをネットワークに接続します。



2. オンスクリーンディスプレイメニューを開いて、[Network(ネットワーク)] > [LAN]に移動します。

3. [DHCP]を選択し、それを**オン**にして、IPアドレスを自動的に取得します。または、[Off(オフ)]を選択してネットワーク情報を手動で入力します。(MENU(メニュー) ボタンを押すと入力値が適用されます。)

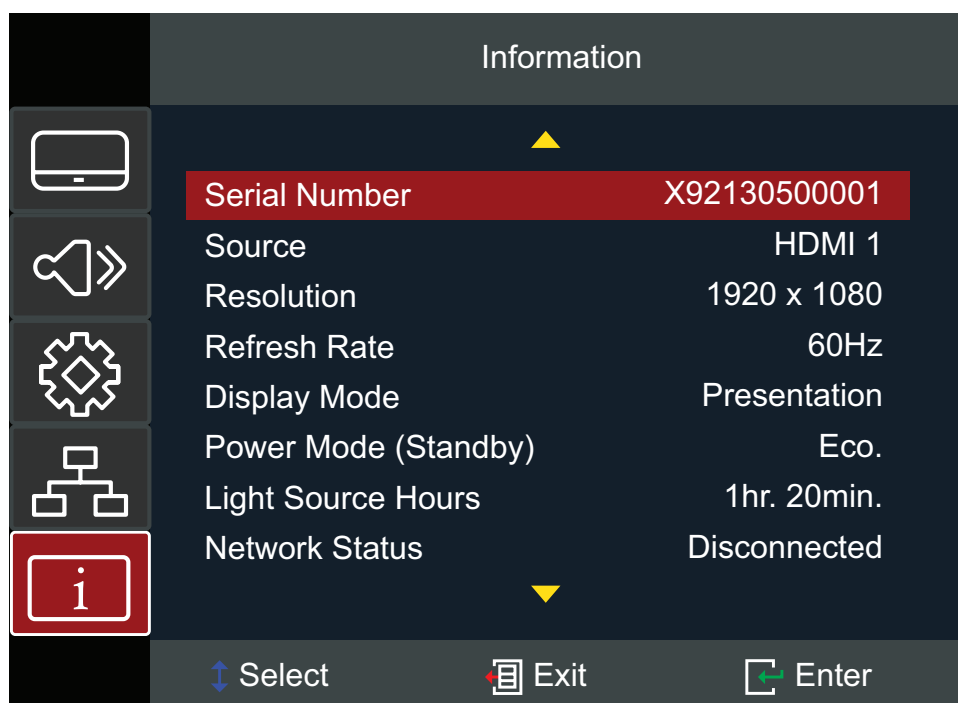
注記: 約15~20秒待つてから、LAN設定ページに再度入ってください。プロジェクターIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定が表示されます。プロジェクターIPアドレス行に表示されているIPアドレスに注意してください。



4. Webブラウザを使用し、同じネットワークの下で、プロジェクターのIPアドレスを入力します。
5. ユーザー名とパスワードを入力し、[Log in (ログイン)]をクリックします。
注記: デフォルトのユーザー名はadminです。

Information Menu (情報メニュー)

Serial Number (シリアル番号)、Source (ソース)、Resolution (解像度)、Refresh Rate (リフレッシュレート)、Display Mode (ディスプレイモード)、Power Mode (Standby) (電源モード(スタンバイ))、Light Source Hours (光源時間)、Network Status (ネットワークステータス)、IP Address (IPアドレス)、Brightness Mode (輝度モード)、Filter Usage Hours (フィルター使用時間)、Firmware Version (ファームウェアバージョン) 情報を表示します。



付録

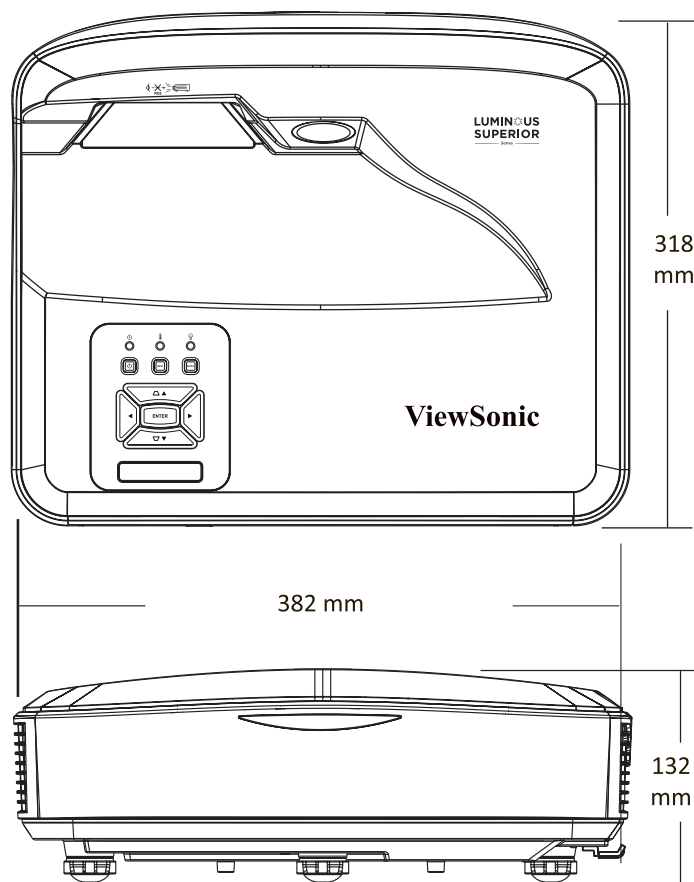
仕様

項目	区分	仕様
プロジェクター	タイプ	レーザー
	画面サイズ	80"~170"
	スローレシオ	0.253 (0.28 mで100インチ)
	レンズ	F = 2.44、f = 3.70 mm
	ディスプレイシステム	1-CHIP DMD
入力信号	HDMI 1.4	f_h : 15~98 kHz、 f_v : 23~120 Hz、ピクセルレート: 170MHz
	HDMI 2.0	f_h : 15~135 kHz、 f_v : 23~120 Hz、ピクセルレート: 600MHz
	VGA	f_h : 15~98 kHz、 f_v : 23~120 Hz、ピクセルレート: 170MHz
解像度	標準	1920 x 1200
電源	入力電圧	100-240VAC, 50/60Hz (自動切替)
動作環境	気温	5°C~40°C (41°F~104°F)
	湿度	10%~85% (非結露)
	高度	0~2,500フィート (5°C~40°C) 2,500~5,000フィート (5°C~35°C) 5,000~10,000フィート (5°C~30°C)
保管環境	気温	-20°C~60°C (-4°F~140°F)
	湿度	5%~95% (非結露)
	高度	0~12.1 km (0~40,000フィート)
寸法	寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	382 x 132 x 318 mm (15.04" x 5.20" x 12.52")
重量	寸法	5.80 kg (12.79 lbs)
節約モード	オン ¹	328W (標準)
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)

¹ 試験条件はEEL標準に従ったものです。

プロジェクターの寸法

382 mm (幅) x 132 mm (高さ) x 318 mm (奥行)



タイミングチャート

アナログRGBタイミング

タイミング	解像度	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	60/67/72/75/85/120
SVGA	800 x 600	56/60/72/75/85/120
XGA	1024 x 768	60/70/75/85/120
	1152 x 864	70/75/85
WXGA	1280 x 768	60/75/85
クアッド-VGA	1280 x 960	60/75
SXGA	1280 x 1024	60/72/75/85
WXGA	1366 x 768	60
WXGA+	1440 x 900	60
UXGA	1600 x 1200	60
WSXGA+	1680 x 1050	60
WUXGA	1920 x 1200-RB2	59.94
HD	1280 x 720	50/60/120
MAC 13"	640 x 480	67
MAC 19"	1024 x 768	75
MAC 21"	1152 x 870	75
FHD	1920 x 1080	50/60

アナログビデオタイミング

タイミング	解像度	リフレッシュレート (Hz)
HDTV(1080i) ³	1920 x 1080	50/60
HDTV(1080p) ³	1920 x 1080	50/60
HDTV (720p)	1280 x 720	50/60
SDTV(480p)	720 X 480	60
SDTV(576p)	720 x 576	50
SDTV(480i)	720 X 480	60
SDTV(576i)	720 x 576	50

² 1920 x 1080@60HzはRB (Reduced Blanking) のみをサポートします

³ Mac 60

HDMIビデオタイミング

HDMI 1.4

タイミング	解像度	リフレッシュレート (Hz)
HDTV(1080p)	1920 x 1080	50/60
HDTV(1080i)	1920 x 1080	50/60
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60
SDTV(480p)	720 x 480	60
SDTV(576p)	720 x 576	50
SDTV(480i)	720 x 480	60
SDTV(576i)	720 x 576	50

HDMI 2.0

タイミング	解像度	リフレッシュレート (Hz)
UHDTV(2160p)	3840 x 2160	24/25/30/50/60
	4096 x 2160	24/25/30/50/60
HDTV(1080p)	1920 x 1080	50/60
HDTV(1080i)	1920 x 1080	50/60
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60
SDTV(480p)	720 x 480	60
SDTV(576p)	720 x 576	50
SDTV(480i)	720 x 480	60
SDTV(576i)	720 x 576	50

HDMI PCタイミング

HDMI 1.4

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	60/67/72/75/85/120
SVGA	800 x 600	56/60/72/75/85/120
XGA	1024 x 768	60/70/75/85/120
	1152 x 864	70/75/85
WXGA	1280 x 768	60/75/85
クアッド-VGA	1280 x 960	60/75
SXGA	1280 x 1024	60/72/75/85
WXGA	1366 x 768	60
WXGA+	1440 x 900	60
UXGA	1600 x 1200	60
WSXGA+	1680 x 1050	60
WUXGA	1920 x 1200-RB4	59.94
HD	1280 x 720	50/60/120
MAC 13"	640 x 480	67
MAC 19"	1024 x 768	75
MAC 21"	1152 x 870	75
FHD	1920 x 1080	50/60

⁴ 1920 x 1200@60HzはRB (Reduced Blanking) のみをサポートします

HDMI 2.0

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
VGA	640 x 480	60/67/72/75/85/120
SVGA	800 x 600	56/60/72/75/85/120
XGA	1024 x 768	60/70/75/85/120
	1152 x 864	70/75/85
WXGA	1280 x 768	60/75/85
クアッド-VGA	1280 x 960	60/75
SXGA	1280 x 1024	60/72/75/85
WXGA	1366 x 768	60
WXGA+	1440 x 900	60
UXGA	1600 x 1200	60
WSXGA+	1680 x 1050	60
WUXGA	1920 x 1200-RB ⁵	59.94
HD	1280 x 720	50/60/120
MAC 13"	640 x 480	67
MAC 19"	1024 x 768	75
MAC 21"	1152 x 870	75
4K	3840 x 2160	50/60
FHD	1920 x 1080	50/60

⁵ 1920 x 1200@60HzはRB (Reduced Blanking) のみをサポートします

3Dサポートタイミング

HDMI 3D		
フレームパッキング形式		
信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
1080p	1920 x 1080	24
720p	1280 x 720	50/60
サイドバイサイド形式		
信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
1080i	1920 x 1080	50/60
1080p	1920 x 1080	50/60
トップアンドボトム形式		
信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)
1080p	1920 x 1080	24/50/60
720p	1280 x 720	50/60

注記：

- 1080i@25Hzおよび720p@50Hzは100 Hzで実行されます。他の3Dタイミングは120 Hzで実行されます。
- 1080P@24Hzは144Hz (XGA、WXGA、1080p)/96Hz (WUXGA) で動作します。
- 入力フレームレートが48Hz以上の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの2倍に設定されます (FRC = 2xモード)。
- 3D入力フレームレートが25Hz以上の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの4倍に設定されます (FRC = 4xモード)。
- 3D入力フレームレートが24Hz (23.9Hzを含む) の場合、出力フレームレートは入力フレームレートの6倍に設定されます (FRC = 6xモード)。

トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
プロジェクターの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待ってからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンの「Source Input (ソース入力)」で正しいソースを選択してください。
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none">フォーカススイッチを使ってフォーカスを調整すると、プロジェクターレンズのフォーカスを正確に合わせることができます。プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。
画像が逆になっている	<ul style="list-style-type: none">OSDメニューを開き、[Setup (セットアップ)] > [Projection (投影)]に移動し、投影オプションを調整してください。
16:9のDVDを投影すると映像が引き伸ばされる	<ul style="list-style-type: none">アナモルフィックDVDまたは16:9のDVDを再生すると、プロジェクターは16:9で最高の画像を表示します。4:3形式のDVDタイトルを再生する場合は、プロジェクターOSDメニューの形式トを4:3に変更してください。DVDプレーヤーのディスプレイ形式を16:9(ワイド)アスペクト比としてセットアップしてください。

問題	解決策
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認してください。そしてそれらが7 m (23フィート) の範囲内にあることを確認してください。 • 電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。
プロジェクターが、すべての制御に応答しない	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターをオフにし、電源コードを抜いてください。少なくとも20秒待ってから、再接続して再試行してください。

LEDインジケータ

警告インジケータ（以下を参照）が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。プロジェクターから電源コードを抜いて、30秒間待つて、もう一度やり直してください。警告インジケータが点灯または点滅する場合は、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

ステータスと説明	電源インジケータライト		温度インジケータライト	光源インジケータライト
	赤	青	赤	赤
スタンバイ状態 (電源コード入力)	点灯			
電源オン (ウォーミング中)	点滅 (1秒オフ/ 1秒オン)			
電源オンとランプ 照明		点灯		
電源オフ (冷却中)	点滅 (0.5秒オフ/ 0.5秒オン) 冷却ファンがオフになったら、 赤いライトが点灯します。			
エラー (ランプ過熱)			点灯	
エラー (ランプ故障)				点灯
エラー (ファン故障)			点滅	
エラー (過熱)			点灯	

メンテナンス

お手入れの際の注意

- プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品を交換する必要がある場合は、ViewSonic®または販売店にお問い合わせください。
- 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- プロジェクターは十分注意してお取扱いください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

レンズを清掃する

- ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

注意： レンズを研磨剤でこすらないでください。

ケースのお手入れ

- 柔らかい、糸くずの出ない乾いた布で汚れやほこりを取り除いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

注意： ワックス、アルコール、ベンゼン、シンナー、その他の化学洗剤を絶対に使用しないでください。

プロジェクターを保管する

プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
- アジャスターフットを完全に引き込みます。
- リモコンから電池を取り出します。
- プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

免責事項

- ViewSonic®は、レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、プロジェクターのレンズおよび/またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic®は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

規制および補修情報

コンプライアンス情報

ここでは、関連する要件や規制に関する声明について説明します。正確な用途は、ネームプレートのラベルおよび本体に表記されるマーク等をご確認ください。

FCC 準拠宣言

本製品は、FCC 規定の第 15 条に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規定されます。(1) 電波障害を起こさないこと (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。この装置は、FCC 規定の第 15 条に準じ、クラス B デジタル機器の制限に従っています。

これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。本装置は高周波エネルギーを生成および使用し、また放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しない場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の 방법으로設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしてください。


- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える。
- このデバイスと受信装置の距離をあげる。
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する。
- ディーラーか経験のあるラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

警告：コンプライアンスに責任を持つ団体が認めない改造や変更を行うと、本機を操作する権利が失効します。

Industry Canada Statement

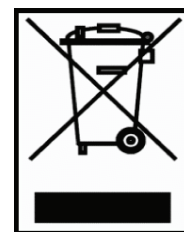
CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

ヨーロッパ諸国における CE 準拠

 本機は EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠します。エコデザイン指令 2009/125/EC。

以下は、ヨーロッパ連合加盟国のための情報です。

右に示すマークは、WEEE 指令 2012/19/EU に準拠していることを意味します。マークは本機を無分別ゴミとして処理するのではなく、お住まい地域の条例に基づいて廃棄する必要があることを示しています。



RoHS2 準拠宣言

本機は、電気電子機器 (RoHS2 指令) における特定の有害物質の使用に関する制限にかかる欧州議会・理事会指令 2011/65/EU に準拠して設計、製造されており、以下に示すとおり欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する最大濃縮率に準拠しています。

物質	最高濃度案	実際の濃度
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジエチルヘキシル (DEHP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ベンジルブチル (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

前述の一部の製品部品は、下記のとおり RoHS2 指令の付録 III から除外されます。

- 特定用途における冷陰極蛍光管および外部電極蛍光管 (CCFL および EEFL) に含まれる下記の量を超えない水銀 (ランプ 1 個あたり) :
 - » 最短 (500 mm) : ランプあたり最大 3.5 mg。
 - » 中 (> 500 mm および 1,500 mm) : ランプあたり最大 5 mg。
 - » 最長 (1,500 mm) : ランプあたり最大 13 mg。
- 陰極線管のガラス内に含まれる鉛。
- 蛍光管のガラス内に含まれる鉛が重量の 0.2% を超えないこと。
- アルミニウムに含まれる合金元素としての鉛が重量の 0.4% を超えないこと。
- 銅合金に含まれる銅が重量の 4% を超えないこと。
- 高融点タイプのはんだに含まれる銅 (重量の 85% 以上が銅の銅ベースの合金など)。
- 圧電性機器など、蓄電器の誘電体磁器以外のガラスまたは磁器に含まれる鉛を含む電気および電子部品、またはガラスや磁器マトリックス混合物。

インドの有害物質に関する制限

有害物質に関する制限宣言（インド）本製品は「India E-waste Rule 2011」に準拠しており、同規則の別表 2 に記載する例外を除き、重量の 0.1% を超える量の鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、重量の 0.01% を超える量のカドミウムの使用を禁止しています。

廃棄処分について

ViewSonic® は環境保護を重視し、人々がエコな環境で働き、生活できることに最善を尽くします。よりスマートな、より環境に優しいコンピューティングへのご協力に感謝します。詳細は、ViewSonic® ホームページをご覧ください。

米国およびカナダ：

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

ヨーロッパ：

<https://www.viewsonic.com/eu/go-green-with-viewsonic>

著作権情報

Copyright© ViewSonic® Corporation、2023。All rights reserved。

Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国およびその他の国における Microsoft 社の登録商標です。

ViewSonic® および 3 羽のトリのロゴは、ViewSonic® 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS および DDC は VESA の商標です。

おことわり：ViewSonic® Corporation は、本書の技術的または編集的ミスについて、また記載されないことについていかなる責任も負いません。さらに、本製品を使用した結果生じたあらゆる偶発的、結果的損害について、本製品の性能または使用に関しても一切責任を負いません。

今後も製品の向上を図るために、ViewSonic® Corporation は予告なく製品仕様を変更する権利を有しています。本書の内容は、将来予告なく変更される場合があります。

本書の一部または全部を ViewSonic® 社の文書による許可なく複製、再生、転送することはいかなる方法においても固く禁止します。

カスタマーサービス

テクニカルサポートまたは製品補修については、下記の表に記載されるお問合せ先をご確認いただくか、販売店にお問合せください。

注: 製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。

国/地域	ホームページ	国/地域	ホームページ
アジア太平洋地域およびアフリカ			
オーストラリア	www.viewsonic.com/au/	バングラデシュ	www.viewsonic.com/bd/
中国 (China)	www.viewsonic.com.cn	香港 (繁體中文)	www.viewsonic.com/hk/
香港 (英語)	www.viewsonic.com/hk-en/	インド	www.viewsonic.com/in/
インドネシア	www.viewsonic.com/id/	イスラエル	www.viewsonic.com/il/
日本 (Japan)	www.viewsonic.com/jp/	韓国	www.viewsonic.com/kr/
マレーシア	www.viewsonic.com/my/	中東	www.viewsonic.com/me/
ミャンマー	www.viewsonic.com/mm/	ネパール	www.viewsonic.com/np/
ニュージーランド	www.viewsonic.com/nz/	パキスタン	www.viewsonic.com/pk/
フィリピン	www.viewsonic.com/ph/	シンガポール	www.viewsonic.com/sg/
臺灣 (Taiwan)	www.viewsonic.com/tw/	ประเทศไทย	www.viewsonic.com/th/
Việt Nam	www.viewsonic.com/vn/	南アフリカおよびモーリシャス	www.viewsonic.com/za/
アメリカ			
合衆国	www.viewsonic.com/us	カナダ	www.viewsonic.com/us
ラテンアメリカ	www.viewsonic.com/la		
ヨーロッパ			
ヨーロッパ	www.viewsonic.com/eu/	フランス	www.viewsonic.com/fr/
Deutschland	www.viewsonic.com/de/	Қазақстан	www.viewsonic.com/kz/
Россия	www.viewsonic.com/ru/	España	www.viewsonic.com/es/
Türkiye	www.viewsonic.com/tr/	Україна	www.viewsonic.com/ua/
英国	www.viewsonic.com/uk/		

限定保証

ViewSonic® プロジェクター

保証範囲：

ViewSonic は保証期間内において、通常の使用の下で材料および製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間内に材料および製造上の欠陥が認められる場合は、ViewSonic の独自の判断により製品を修理または同等製品と交換します。交換製品またはパーツには、再生または改修済みパーツまたはコンポーネントも含まれます。

3年間の一般保証

以下に、1年保証が設定されているものを示します。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは3年間、生産に関する故障は3年間、最初のランプで最初の購入日から1年間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

重用における1年保証：

本機を日常的に1日平均14時間以上重用する場合。南北アメリカ：ランプを除く全パーツは1年間、生産に関する故障は1年間、最初のランプで最初の購入日から90日間。ヨーロッパ：ランプを除く全パーツは1年間、生産に関する故障は1年間、最初のランプで最初の購入日から90日間。

その他の地域および国：保証に関する詳細は、お近くの販売店または ViewSonic 社へおたずねください。

ランプの保証は、諸条件、検証および承認の対象となります。メーカーが取り付けたランプに限ります。別途購入された全アクセサリランプの保証期間は90日間です。

保証対象者：

この保証は、最初の購入者に対してのみ提供されます。

保証対象外：

1. シリアル番号が破損、改ざん、取り外されている製品。
2. 破損、劣化、故障の原因：
 - a. 事故、乱用、誤用、放置、火災、水害、落雷、その他の自然災害、不適切なメンテナンス、許可されない改造、本製品に付帯される指示に従わない使用。
 - b. 製品仕様外の操作。
 - c. 常識外での製品使用や異常な状態での使用。
 - d. ViewSonic が認めない人物による補修または補修の試み。
 - e. 出荷時の不具合。
 - f. 製品の撤去または設置。
 - g. 電力サージや停電などの外部からの原因。
 - h. ViewSonic の仕様に合わない部品の使用。
 - i. 通常の摩耗、消耗。
 - j. 製品の欠陥に関係しない原因。
3. 撤去、設置、設置サービス費。

補修を受けるには：

1. 保証範囲内において補修サービスを受けるには、ViewSonic カスタマーサービスにお問合せください (カスタマーサービス ページをご覧ください)。製品のシリアル番号をお手元にご用意ください。
2. 保証サービスを受けるには、(a) 購入日、(b) お客様のお名前、(c) ご住所、(d) 問題の詳細、(e) 製品のシリアル番号が必要です。
3. 製品を元の梱包材料に入れて、元払いで ViewSonic サービスセンターまでお送りください。
4. 詳しい情報や、お近くの ViewSonic サービスセンターの名称については、ViewSonic 社までお問合せください。

黙示的保証の制限：

商用性または特定目的への適合性に対する黙示的保証を含め、ここに含まれない明示的または黙示的保証は一切行いません。

故障の除外：

ViewSonic の責任範囲は、製品の補修または交換を上限とします。ViewSonic の責任の除外：

1. このようなダメージの可能性が知らされていたとしても、本製品の欠陥により生じた他の所有物へのダメージ、不便性によるダメージ、使用の損失、利益の損失、商的机会の損失、のれんの減損、ビジネスパートナーとの関係性への干渉、その他の商的損失。
2. 偶発的、派生的に生じた故障。
3. 第三者からのお客様に対する苦情。

現地法の有効性：

この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。一部の行政は示唆的保証の制限、偶発的または派生的ダメージの例外を認めない場合があります。その場合は、上記の制限や例外は適用されません。

米国およびカナダ以外での販売：

米国およびカナダ以外の国で販売された ViewSonic 製品に関する保証やサービスについては、ViewSonic またはお近くの販売店へお問合せください。

中国本土（香港、マカオ、台湾を除く）における本製品の保証期間は、メンテナンス保証カードに記載されている条件に基づきます。

ヨーロッパおよびロシアのお客様については、保証内容はホームページでご覧いただけます (www.viewsoniceurope.com under Support/Warranty Information)。



ViewSonic®